

奈良市子ども・子育て会議委員名簿

(敬称略、カナ順)

	氏 名	所属 ・ 役職名等	備 考
1	オオガタ ミカ 大方 美香	大阪総合保育大学児童保育学部 学部長	会長
2	オカダ カズヒロ 岡田 和久	奈良市PTA連合会 会長	
3	オカモト サトコ 岡本 聡子	NPO法人ふらっとスペース金剛 代表理事	
4	カネノ ヒデカズ 金野 秀一	奈良市自治連合会 副会長	
5	カメモト カズヤ 亀本 和也	奈良市保育園保護者会連絡協議会 副会長	
6	クニハラ チエ 國原 智恵	奈良市保育会 会長	
7	クリモト キョウコ 栗本 恭子	公募委員	
8	シノダ アツシ 篠田 厚志	NPO法人ファザーリング・ジャパン関西 理事長	
9	ツカモト マキ 塚本 真紀	奈良市私立幼稚園協会 研修委員	
10	テラオ マリコ 寺尾 麻理子	奈良県私立幼稚園PTA連合会	
11	ハマダ シンジ 浜田 進士	NPO法人子どもの権利条約総合研究所関西事務所 所長	副会長
12	フkahara ススム 福原 晋	奈良交通株式会社 総務人事部 課長	
13	モリ ヒサミ 森 久美	公募委員	
14	ヨコヤマ マキコ 横山 真貴子	奈良教育大学教育学部 教授	

平成29年4月13日 現在

奈良市子ども・子育て会議 庁内名簿

	氏 名	所属 ・ 役職名等	備 考
1	木綿 延幸	子ども未来部長	
2	中川 昌美	子ども未来部次長	
3	川尻 ひとみ	子ども未来部参事	
4	真銅 正宣	子ども政策課長	
5	大前 睦美	こども園推進課長	
6	栗山 稔	保育所・幼稚園課長	
7	小澤 美砂	子ども育成課長	
8	野儀 あけみ	子育て相談課長	
9	嵯峨 伊佐子	健康増進課長	
10	高塚 佳紀	教育政策課長	
11	鈴木 千恵美	地域教育課長	
12			
13			
14			

平成29年4月3日 現在

子ども条例部会の開催について

(第18回奈良市子ども・子育て会議資料)

平成29年6月21日

奈良市子ども未来部子ども政策課

1 奈良市子ども条例部会について

(1) 設置根拠

「奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会設置要領」

(2) 設置目的

奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第19条第3項の規定に基づき、奈良市子ども・子育て会議においてこの条例の取組状況について検証を行う必要があり、この検証を集中的かつ効率的に行うために子ども条例部会を設置します。

【部会の所掌事項】(設置要領第2条)

- (1) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例(平成26年奈良市条例第51号。以下「子ども条例」という。)の規定に基づく事業等の実施状況の検証に関する事項
- (2) 子ども条例第12条に規定する子ども会議の運営に関する事項
- (3) 前2号のほか、子ども条例に基づく施策の推進に関し必要な事項

(3) 子ども条例部会委員

部会の委員は、奈良市子ども・子育て会議に属する委員、奈良市職員及び奈良市教育委員会事務局職員のうちから会長が指名することとなっており、次のとおり合計17名の委員から構成されています。

なお、前回の第17回奈良市子ども・子育て会議をもって和田委員が辞任されましたので、委員名簿が次のとおり変更となっております。

[旧名簿](平成29年3月28日開催 第7回子ども条例部会まで)

奈良市子ども・子育て会議委員	奈良市職員	奈良市教育委員会事務局
岡田委員	子ども政策課長	教育政策課長
金野委員	こども園推進課長	学校教育課長
栗本委員	保育所・幼稚園課長	いじめ防止生徒指導課長
浜田委員(部会長)	子ども育成課長	地域教育課長
福原委員	子育て相談課長	
森委員	健康増進課長	
和田委員(職務代理)		
計 7名	計 6名	計 4名



[新名簿](平成29年5月17日開催 第8回子ども条例部会から)

奈良市子ども・子育て会議委員	奈良市職員	奈良市教育委員会事務局
岡田委員(職務代理)	子ども政策課長	教育政策課長
金野委員	こども園推進課長	学校教育課長
栗本委員	保育所・幼稚園課長	いじめ防止生徒指導課長
篠田委員(新委員)	子ども育成課長	地域教育課長
浜田委員(部会長)	子育て相談課長	
福原委員	健康増進課長	
森委員		
計 7名	計 6名	計 4名

2 第8回 子ども条例部会の開催について

(1) 開催状況

開催日時 : 平成29年5月17日(水) 午前10時から正午まで
開催場所 : 奈良市役所 北棟2階 第16会議室
出欠状況 : 委員17名中14名出席

(2) 議題又は案件

部会長の代理者の選出

[報告事項]

① 「奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）」の策定について

[議題]

- ① 部会の検討事項及び開催スケジュールについて
- ② 平成29年度奈良市子ども会議（案）について

(3) 決定又は取りまとめ事項

- ◆ 部会長の代理者については岡田委員が選出された。
- ◆ 部会の検討事項及び開催スケジュールについては事務局案のとおり承認された。
- ◆ 今回の子ども会議で話し合うテーマについては、事務局案のとおり「いじめ」に絞って取り組むこととなった。

(4) 議題又は案件に対する主なご意見等

[議題]
① 部会の検討事項及び開催スケジュールについて → 事務局案のとおりご承認いただく。
② 平成29年度奈良市子ども会議（案）について
・ 子ども会議参加者の募集について、募集チラシ（案）に使われている漢字にふりがなをつけることや、募集ポスターの作成が提案された。
・ 参加者募集の結果、抽選になった場合は、抽選を外れた人へのフォローがあればよいのではないか。
・ 子ども会議の途中で、市の担当課だけでなく、関係する企業やNPOなどの参加があってもよいのではないか。
・ 「いじめ」をテーマにするのなら、教育委員会で既に取り組んでいることとは違う視点も必要ではないか。
・ 来年度以降の取組への提案として、学校の道徳の授業で話し合い、それをまとめて、吸い上げていけるような仕組みにはできないか。
・ 「いじめサミット」の取組は、いじめに対して、「自分がどうするか」という考えかと思うが、子ども会議は「大人にどうしてほしいか」という視点にして取り組んではどうか。

3 平成29年度「奈良市子ども会議」について

(1) 趣旨

奈良市では、奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第12条に基づき子どもが意見表明をし、参加する場として奈良市子ども会議を開催する。

奈良市が「どうすれば子どもにやさしいまちになっていくのか」について子どもたち自身が話し合い、出された意見をまとめ、市長に提出することを目的とする。

また、提出された意見に対しては奈良市としての回答を作成し、公表する。

(2) 開催日時及び場所

回	開催日	開催時間	場所
第1回	7月25日(火)	午前10時から正午まで	奈良市役所 北棟6階 第21会議室
第2回	7月27日(木)		
第3回	8月 1日(火)		
第4回	8月 3日(木)		
第5回	8月 8日(火)		

※ 子どもたちが参加しやすい夏休み期間を中心に開催します。

(3) 参加者

10歳から17歳まで（平成29年4月1日現在）の子ども30名程度を募集する。

なお、応募者多数の場合は抽選とする。

【募集方法】

- ① 奈良市内の各学校(小・中・高等学校等)や関連施設等に参加者募集の案内チラシ(各30枚程度)・ポスターを配布。
- ② 奈良市しみんだより、奈良市公式ホームページに募集記事掲載。
- ③ 平成28年度奈良市子ども会議参加者への案内。
- ④ 奈良市の子育ておうえんサイト「子育て@なら」への募集記事掲載。 等

【応募方法】

次の必要事項を記入し、平成29年7月14日(金)までに郵送、持参、FAX、メールで奈良市子ども未来部子ども政策課まで提出。

(必要事項)

- | | |
|-----------|----------------------|
| ・住所 | ・Eメールアドレス |
| ・氏名(ふりがな) | ・性別 |
| ・年齢 | ・学校名/学年(働いている場合は勤務先) |
| ・電話番号 | |
| ・FAX番号 | |

(参考)

平成28年度奈良市子ども会議参加者数 37名

平成27年度奈良市子ども会議参加者数 42名

(4) 進行及びサポート

子どもたちの意見を引き出し、話し合いが円滑に進むように、専門のファシリテーターを配置する。

平成29年度奈良市子ども会議ファシリテーター
特定非営利活動法人 子どもの権利条約総合研究所
関西事務所長 浜田 進士 氏

(5) サポーター

子どもたちの補助等を行うサポーターとして、奈良市内に在住又は在学している大学生等を5名程度募集する。

【募集方法】
① 平成28年度奈良市子ども会議に参加したサポーターへの案内。
② 市内の大学等を通じて周知。等

【 応募方法 】	
次の必要事項を記入し、平成29年7月14日(金)までに郵送、持参、FAX、メールで奈良市子ども未来部子ども政策課まで提出。	
(必要事項)	
・住所	・FAX番号
・氏名(ふりがな)	・Eメールアドレス
・年齢	・性別
・電話番号	・学校名/学年

(参考)

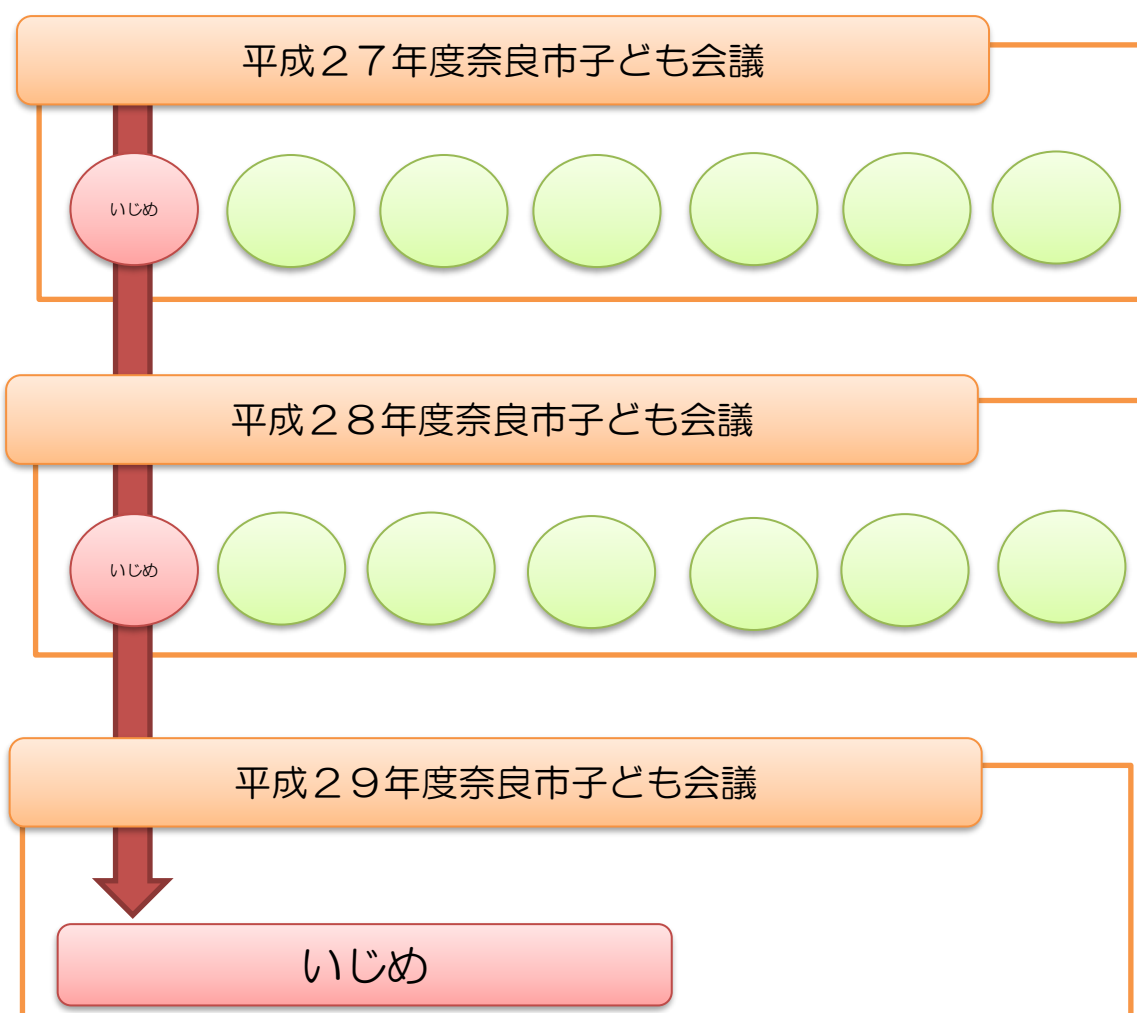
平成28年度奈良市子ども会議サポーター参加者数 6名

(6) 話し合うテーマ・内容

今年度の奈良市子ども会議は平成28年度の取組を基本として開催するが、話し合うテーマについては、平成27年度に続き、平成28年度にも子どもたちから出されたテーマである「いじめ」を募集段階から提示する。今年度は、1つのテーマに絞って話し合ってもらうことで、議論の中で出される意見を今まで以上に多様で、様々な角度からの提案が出されるように取り組んでもらうことを目標とする。話し合いの中で出された意見は、グループごとにまとめ、意見書を作成する。

また、昨年度に続き、議論の途中で内容に関わる市の担当者や関係者が出席し、奈良市で行っている取組について参加者たちに説明等を行うことで、よりよい議論をするための参考としてもらう。その他各回の内容の詳細については応募状況等の様子を見ながら、ファシリテーターと事務局でまとめていく。

【 奈良市子ども会議で話し合うテーマについて イメージ図 】



(7) 意見の提出及びそれに対する回答

奈良市子ども会議でまとめた意見を市長に提出する機会を設ける。提出された意見に対しては、奈良市としての回答を作成し、その回答を子どもたちに説明する機会も設ける。

(8) 公開

奈良市子ども会議は、原則的に公開で実施するものとし、参加者には募集段階からその旨を示し、参加者とその保護者から公開に関する承諾書を提出してもらう。

(9) その他

- ・参加者にお菓子やジュース類を用意する。
- ・参加者の参加に係る経費（交通費等）は自己負担のため、参加1回につき、500円の図書カードを配布する。

(10) 第5回子ども条例部会において出された主なご意見等(抜粋)

[議題(平成28年度奈良市子ども会議の検証について)]

- ・来年度以降の取組として、子ども参加者向けに奈良市子ども会議の事前学習会のようなものがあるといいと思います。
- ・第3回目で市の担当者が参加し、子ども参加者と話し合った取組はよかったと思います。子ども参加者にとって学習型の子ども会議にもなったのではないかな。
- ・参加した子どもたちだけではなく、他の子どもたちにもこの取組を広げるための仕組みがあるといいのではないかな。（会議参加前に学校や児童会等で多くの意見を聴いておいてから参加したり、会議参加後にその内容を学校や児童会等で報告する等）
- ・奈良市子ども会議も回数を重ねるにつれて、リピーターが出てくると思うが、そのリピーターを会議の補助や運営側に育てていくのはどうか。また、初参加の子どもたちには優先的に発言できるよう配慮してあげるのはどうか。
- ・学校の代表が参加するというようなことにするとそれぞれの地域からまんべんなく意見が吸い上げることができると思います。
- ・障がいをもった子どもや参加することのハードルが高い子ども等の意見も吸い上げられる会議になればいいと思います。
- ・地域教育協議会との連携も検討してはどうか。

(11) 平成27年度の奈良市子ども会議の進捗状況に対する奈良市子ども・子育て会議委員の意見等 (奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの進捗管理において出された意見)

- ・積極的に意見交換する子どもたちが目立ち、内容も工夫されている。参加する子どもたちにとって意味のある取り組みとなっているが、「奈良市全体の子どもたちに向けて」と考えると、もっと取り組み方に広がりがあっても良いのではないかな。例えば、事前に子どもたちの意見を集めるような取り組みになっていけば、子ども会議の意義も更に深まるのではないかなと思う。
- ・学校を通して先生から学年便りに記載してもらおう等、工夫すれば、より周知できるのではないかな。
- ・中学、高校生の市政を含めた政治への興味、関心を意識的に増加させなければならない。そういう意味でも特に10代の意見は将来の市政にとって大変重要だと考えるので、積極的事業展開に期待したい。10代の就労者の意見を取り入れても良いかなと思う。
- ・全国レベルでも先進的な取り組みを実践していると高く評価する。今後は、困難を有する子どもたちなど多様な参加を促進すること、テーマをしぼった上でより具体的な実施計画を実施することを求める。
- ・今後、どのような手立てが考えられるのか、子ども会議参加者に議論してもらおうのもよいのではないかな。

- ・ 子どもからの意見をいかに市政に反映したか、反映できない場合はその理由を、子どもや市民にフィードバックしていただきたい。
- ・ 来年度以降の子ども会議の周知の際に、子ども会議における具体的な子どもたちの議論の流れ等を伝えることができればより興味を持ってもらえるのではないと思う。

(趣旨)

第1条 この要綱は、奈良市子どもにやさしいまちづくり条例（平成26年奈良市条例第51号。以下「条例」という。）第12条に規定する奈良市子ども会議（以下「子ども会議」という。）の実施等に関し必要な事項を定めるものとする。

(意見等を求める事項)

第2条 子ども会議において意見等を求める事項は、次のとおりとする。

- (1) 子どもにやさしいまちづくりや子どもに関する施策に関すること。
- (2) その他必要と認める事項

(参加者)

第3条 市長は、条例第3条第2号に規定する子どもであつて、原則として11歳以上18歳未満であるもののうちから、子ども会議への参加を求めるものとする。

2 前項の場合において、市長は、原則として、同一の者に継続して子ども会議への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 子ども会議の運営に関する事項は、条例第12条第2項の規定に基づき子ども会議において決定する。

(支援)

第5条 条例第12条第2項後段の規定による市の支援は、次に掲げるものとする。

- (1) 子ども会議の開催及び運営等に必要な情報の提供及び経費の補助
- (2) 子ども会議への子どもの参加の促進
- (3) その他子ども会議の運営のために必要と認める事項

(市長への意見の提出)

第6条 市は、子ども会議が条例第12条第3項の規定に基づき、これに参加する子どもの意見をまとめ市長に提出する場合には、必要な支援を行うものとする。

(庶務)

第7条 子ども会議の庶務は、子ども政策課において処理する。

(施行の細目)

第8条 この要綱に定めるもののほか、子ども会議に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この告示は、平成27年6月1日から施行する。

(参考) 奈良市子ども会議実施に関する方針

第1 目的

この方針は、奈良市子ども会議（以下「会議」という。）が参加する子どもの自主的及び自発的な取組により運営されるとともに、その会議において出された意見をまとめ市長に提出することを目的に定めるものとする。

第2 定義

この方針において、使用する用語の意義は、次のとおりとする。

- (1) 子ども参加者 原則として11歳以上18歳未満であるものを対象に公募等により選考した者をいう。
- (2) ファシリテーター 会議が円滑に進むように会議全体の進行をするとともに、サポーター及び市への助言や調整を行う者をいう。
- (3) サポーター 子ども参加者に対して会議参加へのサポートをするとともに、ファシリテーター及び市との調整を行う者をいう。

第3 留意事項

会議を実施するにあたり、次に掲げる事項に留意するものとする。

- (1) 会議が、子ども参加者にとって安心して参加し、意見を出しやすい場となるよう、子ども参加者同士、ファシリテーター及びサポーターとの良好な関係の構築に努めること。
- (2) 子ども参加者が互いに認め合い、協力し合える関係の構築に努めること。
- (3) 子ども参加者一人ひとりが積極的に参加するよう働きかけ、特定の子ども参加者に過度な負担がかからないように努めること。
- (4) 子ども参加者への助言を行う際は、考えを押し付けるようなことにならないよう努めること。
- (5) 会議において知り得た子ども参加者の個人情報等をみだりに第三者に知らせ、又は不当な目的に使用しないこと。なお、会議終了後も同様とする。

第4 市の役割

市は、会議運営に係る総合的な調整及び広報に関すること、その他会議に関する必要な役割を担う。

第5 提出された意見等の取扱い

市は、会議から市長に提出された意見等の要点を整理集約した上で、それに対する市の考え方とともに公表するものとする。ただし、単に賛否を述べるのみの意見については公表しないものとする。なお、この場合、子ども参加者の個人情報等には配慮するものとする。

第6 公開

会議は、原則的に公開で実施するものとし、子ども参加者の募集にあたってはその旨を示すものとする。

附 則

この方針は、平成27年6月4日から施行する。



ぼしゅう

2017年 奈良市子ども会議 参加者募集

奈良市を「子どもにやさしいまち」にするため、子どもたち自身で「子どもにやさしいまちづくり」について話し合ってもらおう「奈良市子ども会議」！

今回は「いじめ」をテーマに「子どもにやさしいまちづくり」について話し合ってもらいます。ご参加お待ちし

ています！奈良市子ども会議は、平成27年4月に施行された「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」に規定されているものです。

★開催日時：平成29年7月25日（火）、27日（木）

8月1日（火）、3日（木）、8日（火）

いずれも午前10時から正午まで。（できるだけ全ての回に参加してください。）

全5回の日程終了後に参加者のみなさんから奈良市長への意見報告会を開催する予定です。

★開催場所：奈良市役所 北棟6階 第21会議室

★対象者：奈良市内に在住又は在学している10歳から17歳までの人。

募集人数は30人程度。（年齢は平成29年4月1日現在。）

★応募方法：裏面の応募用紙を記入し、平成29年7月14日（金）までに郵送・持参・FAX・メールで

奈良市子ども政策課まで提出してください。

※応募者多数の場合のみ抽選を行います。

※メールで応募される場合は、本文に裏面の応募用紙にある必要事項を記入し送付してください。

問合せ：奈良市役所 子ども未来部 子ども政策課

〒630-8580

奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792

FAX：0742-34-4798

電子メール：kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

これまでの

取組については

こちらから！！



(ふりがな)

氏 名 :

性 別 : ☐ 男 ☐ 女

学校名 :

学 年 :

年

ねんれい

年 齢 :

さい

歳

住 所 : 〒 —

(電話番号

—

—

)

(FAX番号

—

—

)

(メールアドレス

)

きんむ

勤務先 :

(働いている人はこちら)

おう ぼ

応募理由

※ 奈良市子ども会議で、撮影した写真や氏名等を市のホームページや印刷物、報道等
で使用する場合がありますのでご承諾くださいますようお願い申し上げます。
(後日、参加者ご本人と保護者様には承諾書にご署名いただきます。)



おう ぼ
ご応募ありがとうございます。



2017年

奈良市子ども会議 参加者募集

ぼしゅう

かいさい
開催日

7/25 (火)、27 (木)
8/1 (火)、3 (木)、8 (火)

しめきり
締切

7/14 (金)

必着

かいさい
開催場所

奈良市役所

対象

10歳から17歳（奈良市内在学・在住）

奈良市子ども会議とは、

奈良市を「子どもにやさしいまち」にするため、子どもたち自身で「子どもにやさしいまちづくり」について話し合う場所。

今年は、「いじめ」をテーマに「子どもにやさしいまちづくり」について話し合います。



これまでの取組や
応募方法については
市HPをチェック！！



奈良市

検索

「奈良市子ども・子育て会議」について

（第18回奈良市子ども・子育て会議資料）

平成29年6月21日

奈良市子ども未来部子ども政策課

1 「奈良市子ども・子育て会議」について

1 概要

子ども・子育て支援法第77条において、市町村は、条例で定めるところにより、「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定などの事務を処理するため、審議会その他の合議制の機関を設置することが求められており、本市では、平成25年3月に「奈良市子ども・子育て会議条例」を制定し、本市の附属機関として「奈良市子ども・子育て会議」を設置しました。

子ども・子育て会議は、地域の子育てに携わる当事者の意見を子ども・子育て施策に反映させることが重要であり、計画を策定すれば終わりではなく、施策を継続的に点検・評価・見直しを行っていく(PDCAサイクルを回す)役割が期待されています。

2 「奈良市子ども・子育て会議」の所掌事務

(1) 子ども・子育て支援法第77条第1項に掲げる事務

- ① 特定教育・保育施設(認定こども園、幼稚園、保育所)の利用定員の設定に関する事
- ② 特定地域型保育事業(小規模保育事業等)の利用定員の設定に関する事
- ③ 市町村子ども・子育て支援事業計画の策定・変更に関する事
- ④ 子ども・子育て支援に関する施策の推進について必要な事項及び施策の実施状況の調査審議に関する事

(2) 幼保連携型認定こども園の設置認可等に関する調査審議

幼保連携型認定こども園の設置等の認可、事業の停止又は施設の閉鎖の命令又は設置の認可の取り消しに関する事

(3) その他、市長の諮問に応じ、奈良市の子ども・子育て支援に関する重要事項に関する調査審議

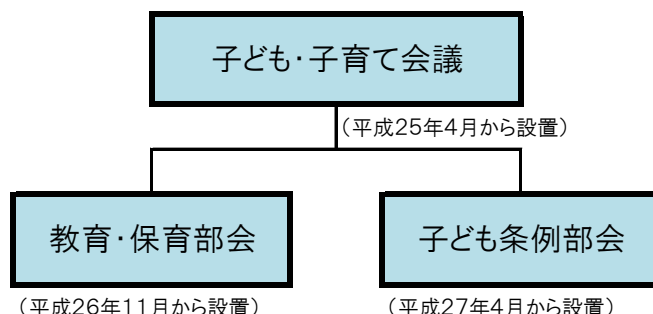
3 委員

会議の委員は、全て外部委員で構成されており、学識経験者や幼保施設・子育て支援事業の代表だけでなく、市内企業の代表、現在子育て中の保護者や市民公募の方にも参加していただくことで、これからの奈良市の子ども・子育て支援について様々な視点から検討を行っています。(任期は3年、定員は15人以内。)

また、特定の分野について専門的に審議を進めるため、部会を設置しており、子ども・子育て会議委員には、部会委員としても参加していただいています。

4 「奈良市子ども・子育て会議」構成

「奈良市子ども・子育て会議」においては、特定の分野について専門的に審議を進めるため、「教育・保育部会」と「子ども条例部会」の2つの部会を設置しています。



＜平成26年度をもって廃止となった部会＞

- ・事業計画策定部会
(H25. 5～H27. 3)
- ・認可・運営基準検討部会
(H26. 4～H27. 3)
- ・支給認定・利用者負担検討部会
(H26. 4～H27. 3)

5 各部会の所掌事項

(1) 教育・保育部会

- ① 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員の設定に関する事
- ② 幼保連携型認定こども園の設置等の認可、事業の停止又は施設の閉鎖の命令又は設置の認可の取り消しに関する事
- ③ その他、奈良市の就学前の教育・保育に関し検討を要する事

(2) 子ども条例部会

- ① 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の規定に基づく事業等の実施状況の検証に関する事
- ② 奈良市子ども会議の運営に関する事
- ③ その他、奈良市子どもにやさしいまちづくり条例に基づく施策の推進に関し必要な事

6 奈良市子ども・子育て会議開催状況

	日程	主な議題
第1回	平成25年5月30日	(1) 会議の運営について (2) 子ども・子育て支援新制度について (3) 奈良市の現状等について
第2回	平成25年8月30日	(1) 奈良市子ども・子育て会議について (2) 子ども子育て支援新制度と奈良市の取組状況について (3) 部会の審議報告と奈良市版ニーズ調査票について
第3回	平成25年12月19日	(1) 子ども子育て支援新制度と奈良市の取組状況について (2) 第2回事業計画策定部会の審議報告について (3) ニーズ調査中間報告について
第4回	平成26年2月26日	(1) ニーズ調査結果報告書(案)について (2) 第3回事業計画策定部会の審議報告について (3) 平成26年度の方向性について
第5回	平成26年5月28日	(1) 平成26年度の主な検討事項及びスケジュールについて (2) 各部会の審議報告について
第6回	平成26年7月14日	(1) 各部会の審議報告について
第7回	平成26年11月6日	(1) 子ども・子育て支援事業計画素案(中間まとめ案)について (2) 奈良市子ども・子育て会議の所掌事務の追加と部会の設置について
第8回	平成27年1月26日	(1) 新制度における利用者負担額の検討について
第9回	平成27年3月20日	(1) 子ども・子育て支援事業計画素案(最終まとめ案)について (2) 平成27年度の奈良市の教育・保育の提供体制について (3) 部会の廃止について
第10回	平成27年4月30日	(1) 奈良市子ども・子育て会議について (2) 子ども条例部会の設置について
第11回	平成27年7月29日	(1) 認可保育所の新設について (2) 奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの進捗管理について
第12回	平成28年2月5日	(1) 奈良市次世代育成支援行動計画(後期)の総括について (2) 奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの進捗管理について (3) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証について
第13回	平成28年3月24日	(1) 教育・保育部会の開催について (2) 子ども条例部会の開催について (3) 奈良市子ども・子育て支援推進本部の設置について

第14回	平成28年7月13日	(1)奈良市子ども・子育て会議について (2)「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の進捗状況について (3)平成28年度奈良市子ども会議の運営及び募集状況について
第15回	平成28年8月29日	(1)奈良市幼保再編実施計画に基づく再編実施方針の公表について (2)平成28年度奈良市子ども会議の開催について (3)「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の進捗状況について
第16回	平成29年2月13日	(1)子ども条例部会の開催について (2)「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の進捗状況について (3)保育料の改定について(国からの通知) (4)「(仮称)奈良市子どもの貧困対策計画」について
第17回	平成29年3月28日	(1)子ども条例部会の開催について (2)奈良市子ども会議からの意見に対する市の回答について (3)奈良市子ども・子育て支援推進本部について (4)平成29年度保育料改定(案)について (5)平成29年度の奈良市の教育・保育の提供体制について (6)奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証報告について (7)奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの中間見直しについて

7 各部会の開催状況

(1) 教育・保育部会

	日程	主な議題
第1回	平成27年12月22日	(1) 奈良市がめざす就学前の教育・保育の提供体制について (2) 提供体制の確保に係る平成27年度の取組状況について (3) 市立こども園カリキュラムについて
第2回	平成28年3月24日	(1) 平成28年度の奈良市の教育・保育の提供体制について

(2) 子ども条例部会

	日程	主な議題
第1回	平成27年6月4日	(1) 部会の検討事項及び今後のスケジュールについて (2) 奈良市子ども会議の運営及び参加者の募集について
第2回	平成27年10月8日	(1) 奈良市子ども会議の検証について
第3回	平成27年12月14日	(1) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証について
第4回	平成28年3月24日	(1) 平成28年度奈良市子ども会議(案)について
第5回	平成28年11月16日	(1) 部会の検討事項及び開催スケジュールについて (2) 平成28年度奈良市子ども会議の検証について (3) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証について
第6回	平成29年1月25日	(1) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証について
第7回	平成29年3月28日	(1) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証について
第8回	平成29年5月17日	(1) 平成29年度奈良市子ども会議(案)について

8 平成27年度までの取り組み

■ 子ども・子育て支援事業計画の策定

く 策定経過 く

- ・ 平成25年5月から「奈良市子ども・子育て会議」において審議を進め、平成27年3月までに9回の全体会議と10回の事業計画策定部会を開催し「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」を策定した。
- ・ その間、平成25年度には就学前児童、小学校就学児童をもつ家庭を対象に「奈良市子育てに関するニーズ調査」を実施し、その結果を基礎として、各事業の量の見込みや事業計画素案を検討した。
- ・ 平成26年11月18日、奈良市子ども・子育て会議から市長に事業計画素案の中間報告を行い、12月1日～26日にパブリックコメント手続を実施した。
- ・ 上記のパブリックコメント手続の結果を踏まえつつ、素案策定作業を進め、平成27年3月20日の子ども・子育て会議において最終とりまとめを行い、同日、奈良市子ども・子育て会議会長より、市長に最終報告を行った。

■ 各種基準の策定

→ 「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴って必要となる各種施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例を新たに制定。

- ① 奈良市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ② 奈良市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ③ 奈良市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

→ 「子ども・子育て支援新制度」における利用者負担等に関する基準を定める条例を新たに制定。

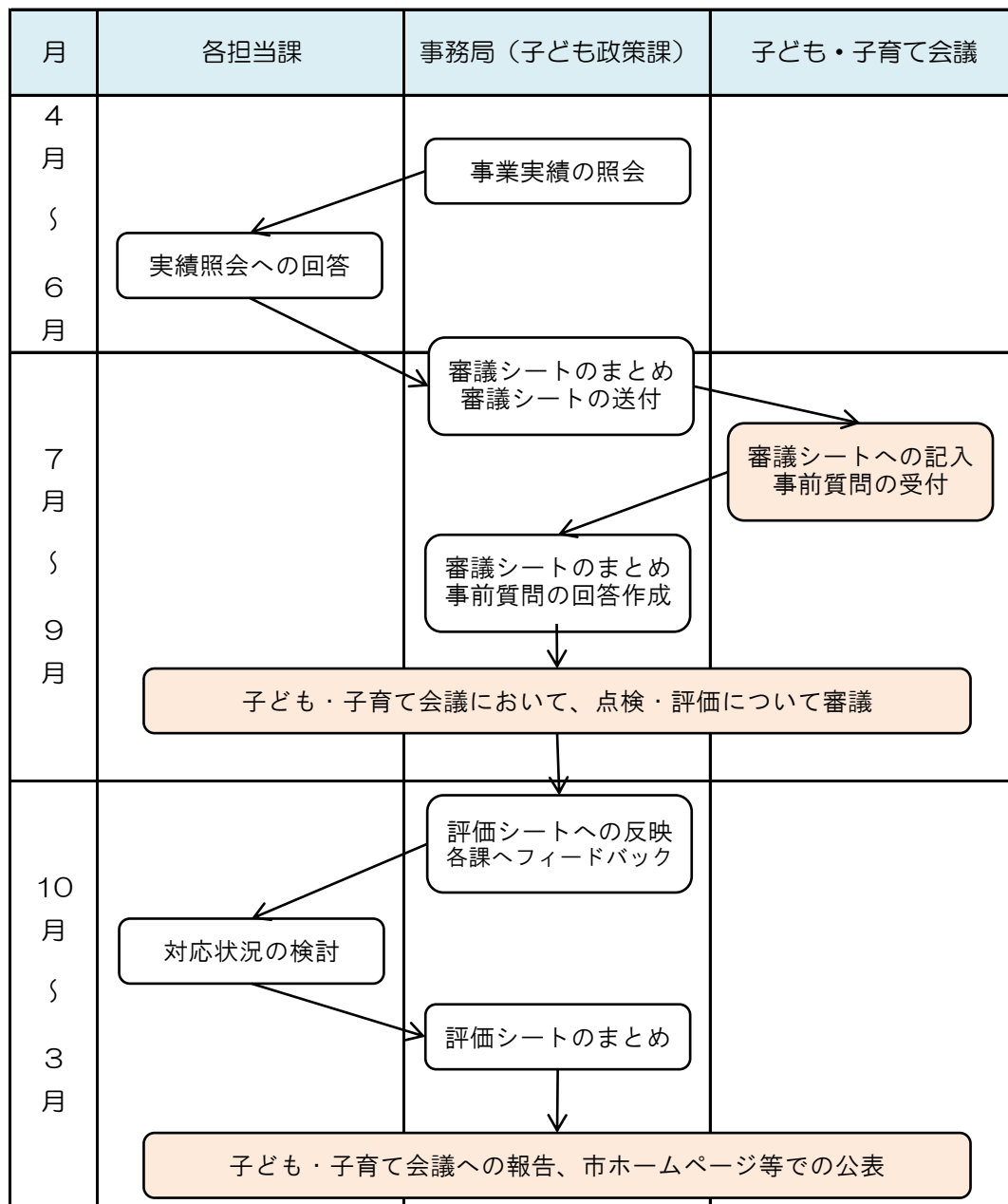
- ① 奈良市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例

■ 子ども・子育て支援事業計画の進捗管理

→ 平成27年3月に策定した「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の検証方法について審議を進め、検証方法や、事業を評価するための評価シートの様式を定めた。

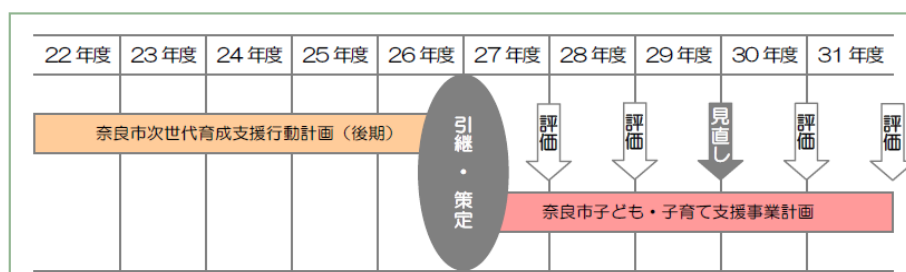
9 平成28年度以降の取り組み

- 「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」について継続的に点検・評価・見直しを行っていくため、このプランの前年度実績について評価していただきます。そして、予算要求を通じて見直しの検討を行い、年度末の子ども・子育て会議において、対応状況の報告を行うことを予定しています。



- 事業計画中間年である平成29年度を目安に計画の見直しを行うことを予定しています。

【 計画期間 】



平成29年度 奈良市子ども・子育て会議等開催スケジュール案

平成29年6月21日現在

	子ども・子育て会議	教育・保育部会	子ども条例部会
4月		※ 案件ができ次第、開催。 最大4回程度を予定。	
5月			<第1回> ・開催計画 ・奈良市子ども会議について
6月	【第1回】 ・計画の進捗状況について ・計画の見直しについて ・部会の報告		
7月			
8月			
9月			<第2回> ・子ども会議の検証 ・子ども条例の検証①
10月	【第2回】 ・計画の進捗状況について ・計画の見直しについて ・部会の報告		
11月			
12月			<第3回> ・子ども条例の検証②
1月	【第3回】 ・計画の見直しについて ・部会の報告		
2月			<第4回> ・子ども条例の検証③
3月	【第4回】 ・計画の見直しについて ・部会の報告		

奈良市子ども・子育て支援事業計画
「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」
点検・評価に係る審議シート一覧表
(第18回奈良市子ども・子育て会議資料)

平成29年6月21日

奈良市子ども未来部子ども政策課

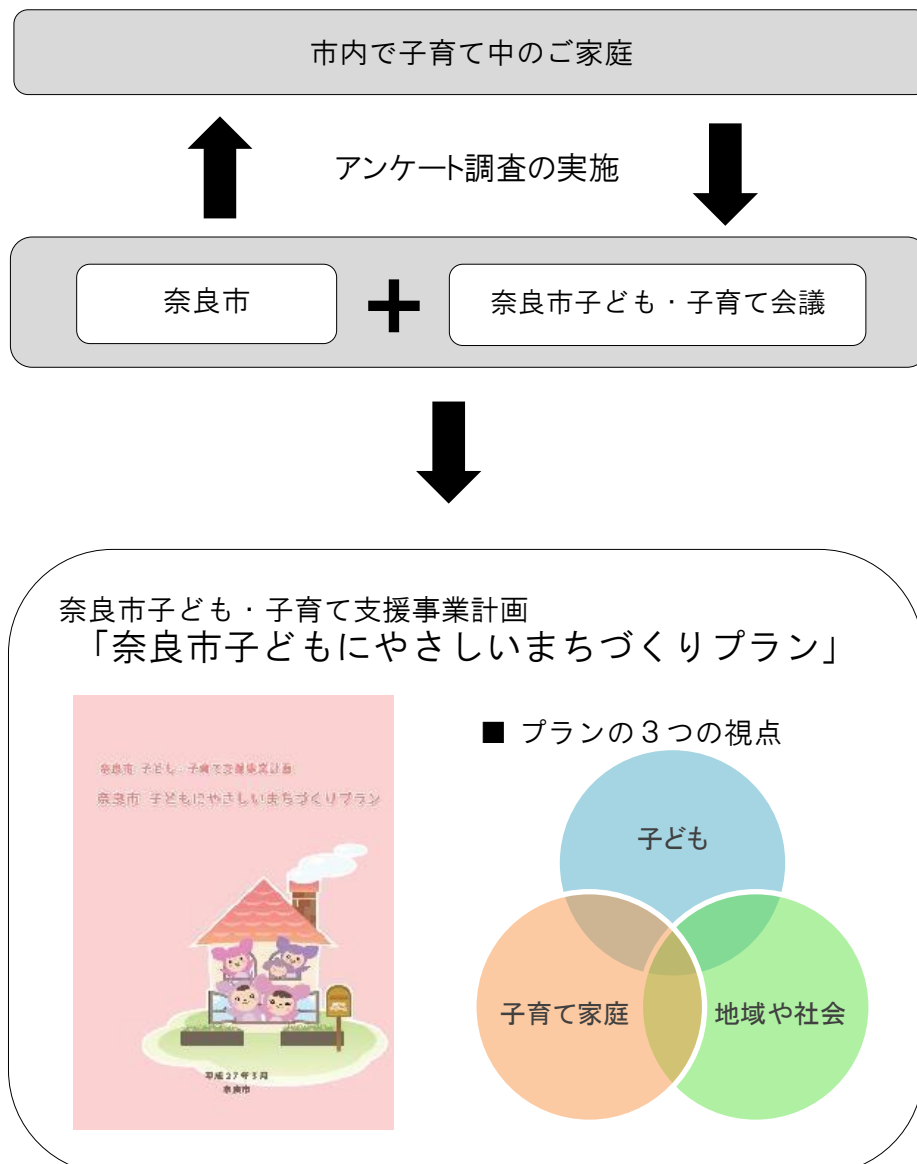
1 「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」について

「子ども・子育て支援事業計画」は、各自治体が子ども・子育て支援法第61条第1項の規定により、策定が義務付けられています。計画期間は平成27年度～平成31年度の5年間となっています。

→ 奈良市の事業計画は、平成26年12月議会で可決された「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」の理念を踏まえるとともに、「次世代育成支援対策推進法」に基づいて策定した「奈良市次世代育成支援行動計画(後期:平成22年度～平成26年度)」を引き継ぐ計画としても位置付けています。

この計画は、奈良市の子ども・子育て支援に係る取組(116事業)を「子ども」「子育て家庭」「地域や社会」の3つの視点のもと、「10の基本目標と20の施策の方向性」という形にまとめ、「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」として平成27年3月に策定しました。

これらの取組を効果的に進めるためには行政からの子ども・子育て家庭に対する取組だけではなく、家庭や地域をはじめ、子育て支援の事業者や企業の皆さんなど様々な関係機関の協力が不可欠です。



2 量の見込みと確保方策対象事業について

子ども・子育て支援新制度においては、「認定こども園の普及」や「待機児童の解消」だけが目的ではなく、地域の子育て支援を充実させるため、子ども・子育て支援法第59条において対象事業が定められています。

それらの事業は「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の進捗管理事業116事業に含めるとともに、第5章「主な事業の5年間の需給計画」に量の見込みと確保方策対象事業として掲載しています。

量の見込みと確保方策の対象事業は国において定められており、奈良市の取組状況は次のとおりです。

[教育・保育]

教育・保育施設及び地域型保育事業の整備	事業No.2
■ 担当課 : 子ども政策課、保育所・幼稚園課 ■ 事業内容 待機児童解消や多様な教育・保育ニーズに対応するため、既存の教育・保育資源を活用するとともに、民間活力による教育・保育施設及び地域型保育事業等の整備を行います。 ■ 平成28年度の取り組み内容・成果等 平成28年4月、中央区域(1園)及び西部南区域(2園)に小規模保育事業所を設置し、同年8月、西部南区域に民間保育所設置公募を行い事業者を選定した。さらに、西大寺保育園の耐震改修工事に並行して、増築を行うことで定員の拡充を行うこととなった。	

[地域子ども・子育て支援事業]

① 利用者支援事業

利用者支援事業	事業No.71
■ 担当課 : 保育所・幼稚園課、子ども育成課 ■ 事業内容 就学前の子どもとその保護者や妊娠している方が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所で情報収集や提供のほか、必要に応じて相談・助言等を行います。 ■ 平成28年度の取り組み内容・成果等 「利用者支援事業の相談支援体制検討グループ会議」において関係各課の情報共有、既存施策の現状把握と課題整理をおこない、連携のあり方について協議を重ね、事業の計画案を策定した。その結果、29年度新規事業として実施を決定した。併せて、コンシェルジュを保育所・幼稚園課に継続配置して、就学前の子どもを持つ保護者及び妊娠している方の子育て支援のサポートを行い、子育て中の不安等を取り除くように相談・助言を行った。	

② 時間外保育事業(延長保育事業)

保育所等の延長保育

事業No.5

■ 担当課 : こども園推進課、保育所・幼稚園課

■ 事業内容

保護者の就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保育所や認定こども園等において認定された利用時間を超えた保育を実施し、就労世帯等の支援を図ります。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

子育てと仕事の両立ができるような環境を整備するため、私立保育所23園、認定こども園5園及び小規模保育事業所4園で利用時間を超えた延長保育事業を実施したほか、市立保育所6園においても同様の事業を実施した。

③ 放課後児童健全育成事業(バンビホーム等)

放課後児童健全育成事業

事業No.25

■ 担当課 : 地域教育課

■ 事業内容

保護者が就労などで昼間家庭にいない世帯の小学生を預かり、放課後児童健全育成事業施設内において、集団生活を体験させながら、健全育成を図ります。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

主任制度、指導員研修、巡回指導等により指導員の資質を高め、児童が放課後等を安全・安心に過ごせる環境を提供した。また、延長保育や学習プログラム事業を実施し、バンビホームの機能強化を図った。

④ 子育て短期支援事業(ショートステイ等)

子育て短期支援事業

事業No.70

■ 担当課 : 子ども育成課

■ 事業内容

(ショートステイ事業)

緊急一時的に児童の養育が困難になった場合に、児童を7日間を限度に預かり、養育・保護を行います。・

(トワイライト事業)

仕事等の理由で帰宅が遅くなり、長期に児童の養育が困難な場合に、午後2時から10時までの時間帯のうち、1日4時間、6か月の範囲で児童を預かり、養育・保護を行います。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

児童の養育が緊急一時的に困難となった場合、児童養護施設又は乳児院において養育・保護を行った。核家族化、共働き世帯及びひとり親家庭が増加し、虐待や発達面での育児不安が急増している中で、子育て短期支援事業の必要性及びニーズは高まっている。

⑤ 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)

乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)

事業No.45

■ 担当課 : 子育て相談課

■ 事業内容

生後4か月未満の乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する必要な情報提供等を行います。また、支援が必要な家庭に対しては助言を行い、乳児家庭の孤立化を防ぎ、保護者の育児不安等を軽減し、虐待の予防や子どもの健全育成を図ります。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

平成27年度は対象者2504件に対し、2482件(面接率は99.1%)訪問(来所による面接も含む。)を行った。こんにちは赤ちゃん訪問では、平成28年4月～平成28年10月生まれの対象者1065人に対し、1065件(面接率は100%)訪問を行った。継続支援が必要な対象者は関係機関と連携し、健診や教室、養育支援訪問等で支援を行った。

⑥ 養育支援訪問事業

養育支援訪問事業

事業No.101

■ 担当課 : 子育て相談課

■ 事業内容

保護者の養育を支援することが特に必要と認められる家庭等に対し、訪問などにより、養育に関する相談、助言などの支援を行います。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

保護者の養育を支援することが特に必要と認められる家庭等に対し、関係機関と連携しながら、訪問などで、養育に関する相談、助言などの支援を行った。平成28年度は奈良県の子育て応援家庭訪問プログラムのモデル事業として実施した。

⑦ 地域子育て支援拠点事業(子育て広場) (5事業)

児童館事業の充実

事業No.29

■ 担当課 : 子ども育成課

■ 事業内容

児童の健全育成とともに市民との協働による子育て支援の拠点としての事業を行い、より開かれた児童館をめざします。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

児童館での各種活動や、地域子育て支援拠点事業等を通じて「子どもの居場所づくり」や「児童の健全育成」を促進した。

地域子育て支援拠点事業

事業No.61

■ 担当課 : 子ども育成課

■ 事業内容

乳幼児と保護者が気軽に集い、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

地域子育て支援拠点において、「子育て広場」、「一時預かり」及び「地域支援活動」などの多様な子育て支援活動を実施し、地域全体で子どもの育ち・親の育ちを支援した。利用者数が年々増加しているとともに、アンケート調査等によると利用者満足度も高い。

子育てスポット事業

事業No.62

■ 担当課 : 子ども育成課

■ 事業内容

公共施設の空きスペースで、月1～2回、乳幼児と保護者が気軽に集って、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

子育て親子にとってより身近な地域の子育て支援の拠点として、地域のさまざまな人が子育てに関わり、地域全体で子育てを応援する場として、地域コミュニティの再生・活性化を図った。

■ 担当課：子ども育成課

■ 事業内容

福祉センターで、主として乳幼児(0～3歳)と保護者が気軽に集える場を提供し、高齢者から昔ながらの遊びや昔話を教えてもらうなど、異世代間における交流を行います。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

東・西・南・北の各福祉センターで「子育てスポットすくすく広場」を実施し、子育て親子の交流を行うとともに、高齢者との異世代間交流などの多様な子育て支援活動を実施することで、地域全体で子どもの育ち・親の育ちを支援した。

■ 担当課：こども園推進課

■ 事業内容

地域に開かれたこども園として、地域の様々な人との交流を推進するとともに、未就園児の親子登園や子育て相談を実施する等、地域の子育て支援の拠点として子育て支援の充実を図ります。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

地域の方に子どもの成長の様子を伝えたり、実際に見る機会を推進した。地域の方の評価より、課題を改善することができた。

⑧ 一時預かり事業（3事業）

■ 担当課：こども園推進課、保育所・幼稚園課

■ 事業内容

幼稚園や認定こども園の通常の教育時間外に、希望する園児を対象に一時預かり保育を実施し、保護者の子育てを支援します。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

主として、幼稚園と認定こども園に在籍する満3歳以上の幼児で、教育時間外においても引き続き保育を行う一時預かり事業を実施し、子育て支援を行った。H28年度は、市立幼稚園9園、市立認定こども園9園及び私立認定こども園1園で本事業を実施した。

■ 担当課 : 保育所・幼稚園課

■ 事業内容

保護者のパート就労や病気等により、家庭において保育を受けることが一時的に困難となる場合や、保護者の育児の負担軽減やリフレッシュのため、乳幼児を保育所等において一時的に保育し、子育て世帯の支援を図ります。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

子育てと仕事の両立を支援するため、乳幼児を一時的に保育する一時預かり事業を実施している市内私立保育所等14園に補助を実施した。

■ 担当課 : 子ども育成課

■ 事業内容

地域子育て支援拠点の利用経験のある乳幼児を対象に、一時預かりを行い、地域の子育て家庭に対してよりきめ細やかな支援をします。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

子育て中の保護者をサポートするため、6か所の地域子育て支援拠点において一時預かりを実施した。子育て親子にとって身近な場所である拠点の一時預かりを利用することにより、親の心理的・身体的負担が軽減されたと考える。

⑨ 病児・病後児保育事業

■ 担当課 : 保育所・幼稚園課

■ 事業内容

児童が病気や病気の回復期で、保護者の仕事の都合等で家庭での保育が困難な場合に、児童を一時的に専用施設で預かります。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

子どもが一時的な病気の際にも安心して仕事ができるような環境を整備することにより、子育て世帯を支援するため、病児・病後児保育事業を実施する市内4施設に補助を実施した。

⑩ 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)

ファミリー・サポート・センター事業

事業No.103

■ 担当課 : 子ども育成課

■ 事業内容

「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」が依頼・援助・両方のいずれかの会員として登録し、児童の放課後の預かりや保育所等の送迎等で育児の援助が必要となったときに、会員相互の援助活動を行います。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

学校・保育園等への送迎や、一時預かりなど会員による相互援助活動を行い、地域での子育ての仲間づくりや地域コミュニティの活性化を図った。

⑪ 妊婦健康診査事業

妊婦健康診査事業

事業No.42

■ 担当課 : 健康増進課

■ 事業内容

妊婦健康診査にかかる費用の一部を助成することにより、妊婦の経済的負担を軽減し、未受診妊婦の解消を図るとともに、母体及び胎児の健康の保持・増進を図ります。

■ 平成28年度の取り組み内容・成果等

妊娠中の女性と胎児の健康保持並びに異常の早期発見のために実施する妊婦健康診査に係る費用の一部を助成した。妊婦健康診査は、妊娠期間中14回程度行われることが望ましいとされることから補助券基本券14回分と補助券追加券24枚を交付した。延べ受診回数は30,243回であった。

参考「奈良市子ども・子育て支援推進本部」について

奈良市の子ども・子育て支援の全庁的な推進を図るとともに、「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」を効果的に進めるため、奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第20条に基づき、「奈良市子ども・子育て支援推進本部」を平成27年12月から設置しています。

[奈良市子どもにやさしいまちづくり条例（一部抜粋）]

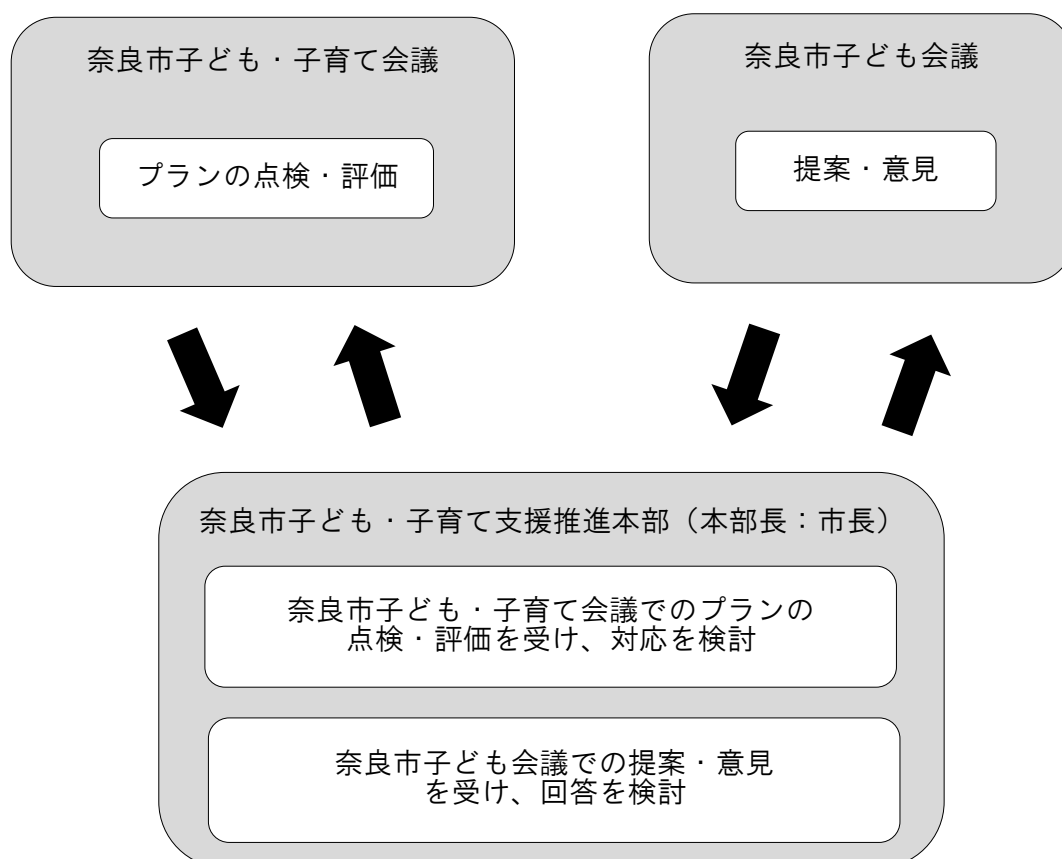
（体制整備）

第20条 市は、子どもに関する施策及び子どもの未来に影響を及ぼす施策に関して総合的な調整を行うための必要な体制を整備するものとする。

奈良市子ども・子育て支援推進本部の所掌事項

- （1）奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの推進に関すること
- （2）子ども・子育て支援の推進に係る関係部局間の連携及び調整に関すること
- （3）その他、子ども・子育て支援に必要な事項に関すること

奈良市子ども・子育て支援推進本部関係図フロー



奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン 点検・評価に係る審議用シートの見方について

基本方針1 子どもがいきいきと心豊かに育つまちづくり															
基本目標					直近の状況 (平成26年度実績値)	平成27年度の状況		進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議委員からの意見		担当課			
施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標		目標・実績値	予算・決算額(千円)	評価	課題や今後の改善点等						
(1)子どもにとって大切な権利の保障															
①子どもの権利保障のための取り組みの推進	1	子ども会議の設置	子どもの意見表明や参加を支援するための取り組みとして、子どもの自主的・自発的な運営による「子ども会議」を設置します。	奈良市の子ども会議参加者の意見表明に対する満足度(%)	平成27年度より実施	(目標)	75	(予算)	1,191	B	子どもにやさしいまちづくりを推進するため、子どもが意見表明をし、参加する場として「奈良市子ども会議」を開催する。この会議に自主的及び自発的に参加し、取り組みで悩んでいる子どもからの関心を高める。また、「奈良市子ども会議」での提案を市政に反映できるよう事業展開を行っていく。	(委員からの意見等を記入)	子ども政策課		
						(実績)	77.5	(決算)	756						

【基本方針】

奈良市子どもにやさしいまちづくりプランにおける基本理念に基づき3つの基本方針を定めています。

【基本目標】

基本方針に基づき10の基本目標を定めています。

【施策の方向性】

基本目標に基づき20の施策の方向性を定めています。
この審議シートはこの施策の方向性ごとに子ども・子育て会議委員からのご意見をいただき、審議を行います。

【No】

奈良市子どもにやさしいまちづくりプランに記載されている進捗管理事業が合計116事業あり、それぞれに番号を付けています。

【事業名】

進捗管理事業の各事業名を記載しています。

【事業概要】

進捗管理事業の各事業概要を記載しています。

【指標】

進捗管理事業における指標を記載しています。
なお、事業の性質により指標を定めることが適切でない等の場合は「－」を記載しています。

【直近の状況(平成27年度実績値)】

各事業における平成27年度の実績を指標に基づき記載しています。
なお、指標を定めていない事業はこの項目に「－」を記載しています。

【平成28年度の状況】

(1) 目標・実績値

指標に基づき、平成28年度における事業の目標値と実績値を記載しています。

なお、指標を定めていない事業はこの項目に「－」を記載しています。

(2) 予算・決算額(千円)

平成28年度における事業の予算額及び決算額を記載しています。

【進捗状況に対する担当課評価】

(1) 評価

事業の進捗状況に対する担当課の評価を5段階で記載しています。

A：計画以上に進んでいる D：計画より大幅に遅れている
B：計画どおりに進んでいる E：廃止又は中止
C：計画より若干遅れている

(2) 課題や今後の改善点等

事業における課題や今後の改善点等を記載しています。

【子ども・子育て会議委員からの意見】

今後、施策の方向性ごとに子ども・子育て会議委員からご意見をいただきます。

【担当課】

事業の担当課を記載しています。

進捗状況に対する担当課評価集計結果について

A：計画以上に進んでいる
B：計画どおりに進んでいる
C：計画より若干遅れている

D：計画より大幅に遅れている
E：廃止又は中止

	事業数	割合(%)
A	22	約19%
B	79	約68%
C	14	約12%
D	0	0%
E	1	約1%
計	116	100%

基本方針1 子どもがいいきいきと心豊かに育つまちづくり						直近の状況 (平成27年度実績値)		平成28年度の状況		進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課
施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標	目標・実績値	目標・実績値	予算・決算額(千円)	予算・決算額(千円)	評価	課題や今後の改善点等			
(1)子どもにとって大切な権利の保障													
①子どもの権利保障のための取り組みの推進	1	子ども会議開催事業	子どもの意見表明や参加を支援するための取り組みとして、子どもの自主的・自発的な運営による「子ども会議」を開催します。	参加者の意見表明に対する満足度	77.5	(目標)	80%	(予算)	917千円	B	今後も引き続き、子ども会議を開催し、この会議に自主的及び自発的に参加し、取り組んでもらえるよう子どもたちの関心を高めていく。また、「奈良市子ども会議」で出された意見を市政に反映できる機会を確保する。	(記入例) 満足度を維持するためには、一定の参加者数を維持する必要があるのではないか。	子ども政策課
						(実績)	79.6%	(決算)	730千円				
(2)乳幼児期の教育・保育の充実													
①乳幼児期の教育・保育の提供体制の確保	2	教育・保育施設及び地域型保育事業の整備	待機児童解消や多様な教育・保育ニーズに対応するため、既存の教育・保育資源を活用するとともに、民間活力による教育・保育施設及び地域型保育事業等の整備を行います。					(予算)				(※施策の方向性ごとに記載) (記入例) ・事業No■■の事業について、△△が課題に挙げられているが、○○という取り組みで代替することができるのではないか。 ・施策の方向性①については、全体的に進捗しており、継続して取り組んでいただくことを願う。	子ども政策課 保育所・幼稚園課
	3	市立こども園の設置	「奈良市幼保再編基本計画」「奈良市幼保再編実施計画」に基づき、市立幼保施設の再編を進めながら、「市立こども園(幼保連携型認定こども園)」の設置を進めます。										子ども政策課 こども園推進課
	4	幼稚園等の一時預かり保育	幼稚園や認定こども園の通常の教育時間外に、希望する園児を対象に一時預かり保育を実施し、保護者の子育てを支援します。										こども園推進課 保育所・幼稚園課
	5	保育所等の延長保育	保護者の就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため、保育所や認定こども園等において認定された利用時間を超えた保育を実施し、就労世帯等の支援を図ります。			(目標)		(予算)					こども園推進課 保育所・幼稚園課
						(実績)		(決算)					こども園推進課 保育所・幼稚園課
	6	休日保育事業	保育所において、日曜・祝日などに就労するため、保育を必要とする保護者の子どもを預かり保育します。			(目標)		(予算)					
					(実績)		(決算)					保育所・幼稚園課	
	7	夜間保育事業	保育所において、就労するため、保育を必要とする子どもを預かり保育します。			(目標)		(予算)				保育所・幼稚園課	保育所・幼稚園課
						(実績)		(決算)				保育所・幼稚園課	保育所・幼稚園課
②質の高い教育・保育の一体的提供と内容の充実	8	保育所及び幼稚園等職員研修の推進				(目標)		(予算)				(※施策の方向性ごとに記載) (記入例) ・より一層の周知を図るということであるが、○○○に対しても周知を行うことも有効だと思われる。	こども園推進課
						(実績)		(決算)					こども園推進課
	9	保育所及び幼稚園等と小学校との連携の推進				(目標)		(予算)					こども園推進課
						(実績)		(決算)					こども園推進課
	10	特別支援教育支援員の配置(幼稚園)	幼稚園に在園する特別な支援を要する幼児に対して、必要な支援を提供することにより、他の幼児を含めて行き届いた教育を提供するとともに、特別支援教育の充実を図ります。			(目標)		(予算)				こども園推進課	こども園推進課
	11	公立保育所の充実	公立保育所においても、保育環境及び保育サービスの充実を図ることにより、子育てと仕事の両立支援をめざします。									こども園推進課	こども園推進課

「指標」～「進捗状況に対する担当課評価」については、事務局で記載した形で配布(記入例として、子ども会議について記載)

量の見込みと確保方策対象事業については、【No】【事業名】欄のセルを黄色に塗りつぶしています。

「子ども・子育て会議における審議結果」欄に各委員に評価・記載していただくことを想定

基本方針1 子どもがいきいきと心豊かに育つまちづくり														
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況			進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課	
							目標・実績値	予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等			
(1)子どもにとって大切な権利の保障														
①子どもの権利保障の ための取り組みの推進	1	子ども会議 開催事業	子どもの意見表明や参加を支援するための取り組みとして、子どもの自主的・自発的な運営による「子ども会議」を 開催 します。	奈良市の子ども 会議参加者の意見 表明に対する満足 度(%)	77.5	(目標)	80	(予算)	917	B	今後も引き続き、子ども会議を開催し、この会議に自主的及び自発的に参加し取り組んでもらえるよう子どもたちの関心を高めていく。また、「奈良市子ども会議」で出された意見を市政に反映できるよう事業展開を行っていく。	(委員からの意見等を記入)	子ども政策課	
						(実績)	79.6	(決算)	730					
(2)乳幼児期の教育・保育の充実														
①乳幼児期の教育・保 育の提供体制の確保	2	教育・保育施設及び地域 型保育事業の整備	待機児童解消や多様な教育・保育ニーズに対応するため、既存の教育・保育資源を活用するとともに、民間活力による教育・保育施設及び地域型保育事業等の整備を行います。	3号認定の利用 定員数(人)	2,681	(目標)	2,686	(予算)	49,500	B	「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」に基づき、重点的な取組が必要な中央区域及び西部南区域の保育所待機児童の解消を目指す。 なお、小規模保育事業については、設置に向けた予算措置を行ったが、関係機関との協議を重ねることにより、既存施設の増改築による定員拡充を図っていくこととなった。	(委員からの意見等を記入)	子ども政策課 保育所・幼稚園課	
						(実績)	2,738	(決算)	0					
	3	市立こども園の設置	「奈良市幼保再編基本計画」「奈良市幼保再編実施計画」に基づき、市立幼保施設の再編を進めながら、「市立こども園(幼保連携型認定こども園)」の設置を進めます。	市立こども園の設置 数 (各年度4月1日) (園)	7	(目標)	9	(予算)	315,453	A	平成28年8月に再編実施方針を追加決定し、市立幼保施設の統合による市立こども園4園の設置と民間移管による私立こども園2園の設置方針を公表した。 また、私立認定こども園は、私立保育園からの移行により、平成28年4月で合計5園となっているが、私立幼稚園の認定こども園移行についても協議を進め、保護者の増加・多様化する保育ニーズに迅速に対応し、市全体の更なる教育・保育の充実を目指す。		子ども政策課 こども園推進課	
						(実績)	9	(決算)	278,812					
	4	幼稚園等の 一時預かり保 育	幼稚園や認定こども園の通常教育時間外に、希望する園児を対象に 一時預かり 事業を実施し、保護者の子育てを支援します。	年間延べ利用者 数(人)	37,349	(目標)	59,578	(予算)	99,148	C	今後も引き続き、幼稚園及び認定こども園で一時預かり実施園を増やすことで、利用者拡大を目指し、子育て支援の充実を図る。		こども園推進課 保育所・幼稚園課	
						(実績)	39,442	(決算)	75,615					
	5	保育所等の延長保育	保護者の就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため、保育所や認定こども園等において認定された利用時間を超えた保育を実施し、就労世帯等の支援を図ります。	延長保育利用児 童数(人)	2,361	(目標)	2,193	(予算)	104,816	A	多様化する保育ニーズに対応するため延長時間の拡大等、事業の拡充を目指す。		こども園推進課 保育所・幼稚園課	
						(実績)	2,339	(決算)	70,991					
	6	休日保育事業	保育所において、日曜・祝日などに就労するため、保育を必要とする保護者の子どもを預かり保育します。	休日保育のべ利 用者数(人)	695	(目標)	750	(予算)	8,344	C	日曜・祝日などに保育を必要とする保護者に対して、休日保育の情報を積極的に提供し、休日保育利用人数を増やしていく。		保育所・幼稚園課	
						(実績)	547	(決算)	7,281					
	7	夜間保育事業	保育所において、夜間に就労するため、保育を必要とする保護者の子どもを預かり保育します。	夜間保育所のべ 入所者数(人)	473	(目標)	480	(予算)	8,100	C	夜間に就労するため保育を必要とする保護者に対して、夜間保育の情報を積極的に提供していく。		保育所・幼稚園課	
						(実績)	336	(決算)	7,366					

基本方針1　子どもがいきいきと心豊かに育つまちづくり															
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課	
							目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等			
②質の高い教育・保育 の一体的提供と内容の 充実	8	保育所及び幼稚園等職員 研修の推進	子どもの人権を十分配慮し、多様な教育・保育ニーズ 及び子育て支援等のサービスに対応するため、保育所 及び幼稚園、認定こども園に勤務する職員を対象に園 内外の研修を実施し、資質向上を図ります。	—	—	(目標)	—	(予算)	1,063	B	本市の保育教育士における年齢層別の課題や、 国の動き、多様化する地域、保護者のニーズ等、 様々な保育にかかわる情報、実態を見据えて、そ れらに対応していくため職員一人一人の教育・保 育力の向上に必要な研修内容と体制を見直し、充 実させていく。	(委員からの意見等を記入)	こども園推進課		
						(実績)	—	(決算)	923						
	9	保育所及び幼稚園等と小 学校との連携の推進	中学校まで連携・接続した教育をめざし、保育所及び 幼稚園、認定こども園から小学校への滑らかな接続を 図るとともに、小学校との連携を推進します。	—	—	(目標)	—	(予算)	—	C	今後、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、 幼稚園教育要領、保育所保育指針が改訂になり、 小学校との接続の部分を丁寧にみていくことが大 切になる。そのことを見据え、奈良市で作成した奈 良市立こども園カリキュラムの大幅な見直し、改訂 に向けての取り組みを進めていく。連携が進んでい る園とあまりできていないところがあるので、奈良市 全体で進めていけるようにしていきたい。		こども園推進課		
						(実績)	—	(決算)	—						
	10	特別支援教育支援員の配 置(幼稚園等)	幼稚園等に在園する特別な支援を要する幼児に対し て、必要な支援を提供することにより、他の幼児を含め て行き届いた教育を提供するとともに、特別支援教育の 充実を図ります。	特別支援教育知 識保有者の人数 の割合(%)	10.3	(目標)	32	(予算)	37,500	C	特別支援に関する専門的知識を持って、特別支援 教育支援員がより適切な教育を提供する必要がある が、勤務体制・雇用形態により研修に参加するこ とが困難になる場合があるため、支援員の研修へ の参加体制を見直す。		こども園推進課		
						(実績)	19.0	(決算)	36,261						
	11	公立保育所の充実	公立保育所においても、保育環境及び保育サービスの 充実を図ることにより、子育てと仕事の両立支援をめざ します。	保育所・こども園 の入所児童数 (人)	3,032	(目標)	3,420	(予算)	1,096,871	C	今後も保育サービスの充実を図るため、保育教育 士の研修を実施し、質の向上を図るとともに、臨時 保育教育士の処遇改善を行うことで、保育教育士 を確保し、年々増加する待機児童を解消し、更なる 体制を整えていく。		こども園推進課		
						(実績)	2,955	(決算)	978,926						
	12	保育所等における食育の 推進	乳幼児期からの適切な食事のとり方や望ましい食習慣 の定着、食を通じた豊かな人間性の育成など、心身の 健全育成を図るため、保育所等で「食育カリキュラム」を 作り、実施します。また、「奈良市立保育園・こども園食 物アレルギー対応マニュアル」に基づき、食物アレル ギーのある園児に安全な給食を提供します。	—	—	(目標)	—	(予算)	—	B	「クッキング保育」計画作成段階において、衛生管 理や食物アレルギーへの配慮等を各園に助言・指 導し、より安全に食育に取り組むことができるよう支 援する。 食物アレルギー対応マニュアルに基づいた給食の 提供には保護者・園(保育士・調理員)の相互理解 が必要である。マニュアルを運用する中での問題 点や対応例等を全園で共有する。 また誤食事故の未然防止に向けて各園のヒヤリ ハット例等を会議で共有し、改善策の考案へ繋げ ていく。		こども園推進課		
						(実績)	—	(決算)	—						
	13	民間保育所等運営費補助 金	運営費補助金の交付により、保育サービスの内容の充 実を図り、多様化する保育ニーズに応えることで、子育 てと仕事の両立支援をめざします。	入所児童数(人)	6,003	(目標)	6,332	(予算)	531,296	B	各園の職員配置等保育体制のさらなる充実と、よ り質の高い保育の実践を図るため、引き続き補助を 行っていく。		保育所・幼稚園 課		
						(実績)	6,039	(決算)	407,953						
	14	保育所等のサービス評価 の実施	保育所等に第三者評価を導入し、保育サービスの質の 向上を目的として、これまでに提供してきた保育内容や 保育の質を、保護者や子どもの視点から見直し改善し ます。	第三者評価を受 審する施設数 (園)	0	(目標)	7	(予算)	5,250	C	(公立)引き続き、市立保育園においては、幼保再 編に伴いこども園に移行後、随時学校評議員制度 を導入する予定であり、現行においても、その方向 性を視野に入れ、園運営の充実・改善に努めてい る。さらに、今後の方針として、第三者評価の導入 についても具体的展望を掲げ、推進していく。 (私立)平成28年度については私立保育所等の第 三者評価受審を実施した園は無かったため、5年 に1度程度受審するよう働きかけていく。		こども園推進課 保育所・幼稚園 課		
						(実績)	0	(決算)	0						
	15	私立幼稚園運営費補助金	運営費補助金の交付により、私立幼稚園の教育条件の 維持向上と園児にかかる経済的負担の軽減を図り、幼 稚園の経営の健全性を高めることで私立幼稚園の健全 な発展を図ります。	在園児童数(人)	1,623	(目標)	1,630	(予算)	24,800	B	継続して実施することにより、保護者の就園上の経 済的負担の軽減や奈良市の幼稚園教育の充実発 展を図る。		保育所・幼稚園 課		
						(実績)	1,626	(決算)	24,341						

基本方針1 子どもがいきいきと心豊かに育つまちづくり															
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況			進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課		
							目標・実績値	予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等				
(3)学齢期の教育・育成施策の充実															
①豊かな人間性と生きる力を育む学校教育の充実	16	人権教育推進のための副教材の配付	学校における人権教育の推進を図るため、副教材として人権教育テキスト「なかまとともに」を小・中・高等学校に配付し、活用を図っています。	—	—	(目標)	—	(予算)	0	B	今後も、多くの教育現場での活用を目指す必要がある。効果的な活用時期や方法を研修会等で呼びかけることで、活用校をさらに増やし、事業のさらなる推進を図る。	(委員からの意見等を記入)	学校教育課		
						(実績)	—	(決算)	0						
	17	地域で決める学校予算事業	中学校区を単位として、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもを育てる体制をつくります。	会計担当者設置校区数(校区)	11	(目標)	13	(予算)	89,161	C	平成29年度も引き続き、会計研修の実施や呼びかけを行っていく。また同時に、中学校区でめざす子ども像を共有した上で学校支援活動の充実を図ること、合同研修の実施、活動の評価を地域教育協議会と学校園が共に行うこと等、協議会と学校園の相互理解を深める仕組みづくりを進め、より円滑な連携・協働活動を目指す。		地域教育課		
						(実績)	11	(決算)	87,768						
	18	世界遺産学習推進事業	世界遺産等の文化遺産や自然環境などを通じて、地域に対する誇りを育て、奈良で学んだことを誇らしげに語れる子どもを育成します。	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある児童の割合(%)	15	(目標)	16	(予算)	6,912	B	デジタル化した副読本を効果的に活用し、ねらいに即した現地学習が行えるよう、指導資料を提供する。世界遺産学習の展示会を充実させ、市民に対して積極的に発信する機会を設ける。今後も、世界遺産学習連絡協議会を通じた児童生徒の学習成果を発信する機会の充実を目指す。		学校教育課		
						(実績)	—	(決算)	6,256						
	19	フューチャースクール構想実証事業	タブレット端末等のICT機器を小学校・中学校に配備し、その活用を通して基礎学力の定着や学習意欲、コミュニケーション能力や課題解決力の向上を図ります。	授業におけるICT活用による児童生徒の満足度の割合(%)	89	(目標)	87	(予算)	51,974	B	モデル校の効果検証の結果、タブレット端末の学習効果が一定示された。29年度については、奈良市の小中学校全体において、老朽化した既設の教育用パソコンをタブレット型端末へ更新する。また、更新の完了に先立って、授業において既設のICT機器を活用した授業実践が進められるように学校現場の支援を行う。		教育総務課 学校教育課		
						(実績)	86	(決算)	51,841						
	20	地域に開かれた魅力ある学校・教育の推進(学校の自己評価)	各学校がその教育活動や学校運営の状況について自己評価を行い、成果や課題を明らかにして改善を進めるとともに、それを保護者や地域社会に公開することで、開かれた学校づくりを進めます。	普段の教育活動や学校行事を参観する機会を設けている学校・園の割合(%)	84	(目標)	87	(予算)	0	B	学校評価の実施は、改善点の明確化や教職員の意欲喚起に効果がみられるが、一方で評価結果の活用に課題を感じている学校がある。学校評価の結果を参加者全員で共有し、担当者を中心に課題の改善に取り組んでいくことが必要である。		学校教育課		
						(実績)	87	(決算)	0						
	21	学校評議員制度の推進	学校運営を地域に開かれた特色あるものにするため、学校評議員を設置します。校長は評議員に意見を求めながら、自主的・自立的な学校運営を推進します。	学校評価において、学校評議員からの意見を教職員全体で共有する仕組みがある学校・園の割合(%)	57	(目標)	62	(予算)	111	B	学校評議員には、今後も引き続き、学校運営に関する情報提供の方法を工夫し、建設的な意見をいただけるよう取り組んでいく。また、評議員制度が形骸化することのないよう、学校運営のPDCAサイクルに位置付けていく。		学校教育課		
						(実績)	74	(決算)	67						
	22	小学校での少人数学級の実施	少人数学級を実施し、よりきめ細かな指導を行うことにより、子どもの教育の充実を図ります。	—	—	(目標)	—	(予算)	259,200	B	クラスサイズを小さくすることだけでは解決が難しい、個別対応が必要な課題への対応が求められる。講師は、臨時的任用であるため、継続性や研修の機会が教諭に比べて少ない等、資質の向上が課題である。今後、引き続き県の少人数加配の活用を図り効果的な運用を行い、経験豊富な講師の任用に努め、講師の質の向上を図る。		教職員課		
						(実績)	—	(決算)	225,184						
	23	教職員研修の推進	奈良市教育センターを拠点とした研修と教員一人一人の指導力に応じた研修及び児童生徒の発達と学びの連続性をふまえた中学校区別の研修を実施し、教員の意識改革と指導力向上を目指す。	研修満足度(%)	92.6	(目標)	91.6	(予算)	20,929	B	来年度から法定研修として導入される、「中堅教諭等資質向上研修」の適切な実施に向けた準備が必要である。また、各校における人材育成のシステム構築に向け、「教員個別訪問研修」「集合型研修」においてOJTなどの手法を取り入れた支援を引き続き行う必要がある。		教育支援課		
						(実績)	93.8	(決算)	19,853						
	24	中学校給食実施事業	健康で安心、安全な食を提供するため、小学校に加え、中学校でも給食を実施します。	中学校給食実施校数(校)	16	(目標)	21	(予算)	266,377	B	平成29年度には、Ⅳ期の1校(都南)を4月に開始して中学校全校の給食開始となります。		保健給食課		
						(実績)	20	(決算)	253,317						

基本方針1　子どもがいきいきと心豊かに育つまちづくり														
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課
							目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等		
②子どもの居場所や体験活動の充実	25	放課後児童健全育成事業	保護者が就労などで昼間家庭にいない世帯の小学生を預かり、放課後児童健全育成事業施設内において、集団生活を体験させながら、健全育成を図ります。	入所児童数(人)	2,860	(目標)	3,019	(予算)	629,320	B	研修会のさらなる充実を図り保育の質を向上させるとともに、主任指導員制度や巡回指導により、管理体制を強化していく。また、放課後児童支援員に係る都道府県認定資格研修を計画的に受講させる。さらに、学校・関係機関・放課後子ども教室などとの連携の強化や、特別な支援が必要な児童に対する支援の推進を図り、多様な保護者ニーズを把握しながら事業内容を充実していく。	(委員からの意見等を記入)	地域教育課	
						(実績)	3,058	(決算)	619,207					
	26	放課後子ども教室推進事業	放課後等に小学校等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得てスポーツ等交流活動を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行います。	放課後子ども教室の年間実施日数(日)	32	(目標)	33	(予算)	21,057	C	引き続き、教室への訪問による現状の把握、各校区週1回程度の教室実施の呼びかけ、人材育成のための研修実施、バンビーホームとの連携強化等、教室実施日数の増加とプログラム内容の充実を目指す仕組みづくりを進める。また、本事業に関わる地域人材の裾野を広げるために、広報活動の強化を図る。		地域教育課	
						(実績)	31	(決算)	20,745					
	27	教育センター学習事業	教育センターのキッズ学びのフロアの設備を活用した体験教室等を開催することで、子どもたちの豊かな学びを保障し、創造性や探究心を育てます。	年間来館者数(人)	16,070	(目標)	14,310	(予算)	20,087	B	「わくわくセンター学習」は、学校園では学習指導要領の改訂に合わせ、児童生徒が主体的に活動できるプログラムや伝統や文化に関する教材開発を進めていく。「キッズホリデークラブ」は、プログラミング教育を対象年齢や内容ごとにシリーズ化し、より市民のニーズに応じた質の高い内容として推し進める。		教育支援課	
						(実績)	15,739	(決算)	19,624					
	28	黒髪山キャンプフィールド管理運営(新名称:青少年野外体験施設の運営管理)	自然環境の中での野外活動やレクリエーション活動を通じて、青少年の心身の健全な育成を図ります。	市営青少年野外体験施設の利用者数(人)	12,577	(目標)	12,040	(予算)	27,413	B	黒髪山キャンプフィールドの利用者は増加したものの、青少年野外活動センターの利用者は減少しており、利用者も固定化している傾向にある。今後はさらなる広報活動に努めるとともに、魅力的なプログラムを実施し、新規の利用者の獲得に向け、事業を展開していく。また、学校以外での子どもの居場所が求められていることや自然体験の機会の減少が懸念される中、青少年の健全育成の教育・体験活動の場としての利用促進に努めていく。		生涯学習課	
						(実績)	12,279	(決算)	27,412					
	29	児童館事業の充実	児童の健全育成とともに市民との協働による子育て支援の拠点としての事業を行い、より開かれた児童館をめざします。	児童館(4館)の利用者数(人)	36,425	(目標)	39,700	(予算)	50,738	C	今後も引き続き、地域の子育て支援拠点として、子育て親子を対象とした交流、子育てについての相談、情報提供、その他の援助を行う子育て広場を実施し、地域における子育て支援の充実を目指す。さらに、児童館の事業等を広く広報することにより、館の利活用の促進を図る。		子ども育成課	
						(実績)	34,395	(決算)	46,309					
	30	スポーツ体験フェスティバルの開催	「体育の日」にちなんで、スポーツの裾野を拡大し、「見て、触れて、体験」することにより、子どもたちがスポーツに親しみ、取り組む足がかりとなる場を提供します。	参加人数(人)	3,300	(目標)	2,200	(予算)	1,700	A	初めて見るスポーツ、初めて触る道具、初めて知るルールを「見て・触れて・体験して」スポーツに興味を持ってもらい、各競技のすそ野を広げ、スポーツ人口の増進に寄与する。また奈良市健康スポーツポイント事業の指定事業として、参加された市民の方に奈良市ポイントの付与を行った。		スポーツ振興課	
						(実績)	3,000	(決算)	1,685					
	31	スポーツ少年団の育成	スポーツ少年団事業として魅力ある本部事業を展開し、団への加入を促進することにより、子どもたちのスポーツの継続的な活動を促進します。	スポーツ少年団加入率(%)	9.1	(目標)	9.3	(予算)	1,000	B	少子化等により、登録団数・団員数が減少しているため、子どもたちがスポーツを通じて心と身体を育て、積極的に参加できる魅力ある事業の展開を行い登録数の増加に努め、青少年の心身の健全な発達と体力の向上を図る。		スポーツ振興課	
						(実績)	8.5	(決算)	1,000					
	32	子どもを対象とした文化事業の実施	子どもたちが優れた芸術や伝統的な芸能等、文化に親しむ機会を設けます。	事業の実施件数及び参加人数(件)(人)	45件 48,805人	(目標)	55件 50,000人	(予算)	13,165	B	今後も子どもを対象とした事業を継続して実施する。楽しいだけでなく子どもたちの糧となるもの、参加しやすい時期、参加料などその事業内容にも工夫を加え実施する必要がある。		文化振興課	
						(実績)	39件 24,161人	(決算)	11,290					

基本方針1 子どもがいいきいきと心豊かに育つまちづくり														
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課
							目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等		
③心身の健やかな成長のための取り組みの 充実		33	アウトリーチ活動の実施	学校教育との連携を図り、子どもたちが芸術文化に親しむ機会を充実させます。	事業の実施件数 及び参加人数 (件)(人)	7件 4,040人	(目標)	20件 4,800人	(予算)	4,270	B	今後も、訪問先のニーズに対応できるよう柔軟に、 内容に工夫をこらし、継続してまいります。	(委員からの意見等を記入)	文化振興課
							(実績)	6件 5,708人	(決算)	3,661				
		34	教育相談業務の充実	教育センターに教育相談総合窓口を設け、カウンセラーを配置するとともに不登校や特別支援教育の相談、スクールカウンセラーの配置等を行い、教育に関する様々な相談の充実を図ります。	教育センターにおける来所教育 相談のべ回数 (回)	2,819	(目標)	2,879	(予算)	21,985	B	教育相談体制の充実を図るため関係各課や専門機関と連携を深めながら、不登校児童生徒や特別な支援を必要とする幼児児童生徒への適切な支援を行う。スクールカウンセラーを全市立学校(中学校は県より)へ配置するとともに、教育センターに配置した不登校対応カウンセラーが市立全中学校を巡回訪問し、不登校支援体制の構築を推進する。		
							(実績)	3,296	(決算)	21,827				
		35	特別支援教育推進事業	特別支援教育の推進のため、専門の相談員を配置し、特別な支援を必要とする幼児児童生徒一人一人に応じた相談の充実を図ります。	特別支援教育来所相談件数 (件)	876	(目標)	1,109	(予算)	10,038	B	教育センターと通級指導教室が定期的に情報交換を行い、相談の情報を共有するなど連携を密にし、本市の特別支援教育の充実とインクルーシブ教育システムの構築を推進する。今年度中学校に通級指導教室が新設されたことから、通常の学級に在籍する児童生徒の、切れ目ない支援が進んできている。		
							(実績)	1,001	(決算)	9,868				
		36	すこやかテレフォン事業	青少年の健全育成を図るため、青少年の育成に関する相談業務を奈良「いのちの電話」協会に委託し、すこやかテレフォン相談室を設置し、専門の相談員が年中無休で電話による各種の相談業務を行います。	すこやかテレフォン事業予算 (千円)	900	(目標)	765	(予算)	765	B	相談内容の内訳として、教育に関するものは3割程度であり、対象外の相談も多くみられることから、各種相談窓口や関係機関との連携や情報共有を行うとともに、さらなる広報活動を行い、広く市民への周知に努める。また、相談員の高齢化や減少が進んでおり、相談体制を維持できるよう引き続き支援していく。		
							(実績)	765	(決算)	765				
		37	エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及啓発事業	特に性行動が活発化する若年層を中心に、エイズや性感染症に関する正しい知識を持ち予防行動がとれるよう、学校、NPO団体等関係機関と協力しながら啓発事業を推進します。 また、感染不安のある方への相談や検査を行い、知識普及と感染予防への意識づけを行います。	高校生に対する教育・啓発実施校数(校)	8	(目標)	8	(予算)	409	B	エイズを中心とした健康教育・啓発事業について、継続して保健所から働きかけを行っていく。 保健所における匿名・無料の抗体検査・相談についても、引き続き啓発を行っていく。		
							(実績)	8	(決算)	320				
		38	未成年の喫煙対策	たばこから子どもたちの健康を守るため、関係機関と協力しながら子どもおよび保護者への啓発を行います。	(医療政策課) 未成年へ啓発物配布人数(人) (健康増進課) 大学生等への健康教育のうち未成年の受講者数(人)	(医療政策課) 4,000人 (健康増進課) 未成年571人	(目標)	(医療政策課) 4,000人 (健康増進課) 600人	(予算)	187	A	(医療政策課) 小学6年生を対象に禁煙啓発物を配布した。また喫煙防止教育担当者向けの研修会開催の働きかけを継続していく。 (健康増進課) 市内の大学生や専門学校生を対象とした喫煙に関する健康教育を実施し、喫煙防止のための啓発を継続していく。		
							(実績)	(医療政策課) 4,000人 (健康増進課) 未成年679人	(決算)	34				
		39	思春期保健対策(性)	10代の望まない妊娠、性感染症の防止のために、思春期相談窓口を設けています。関係機関と協力しながら啓発活動等を行います。	16歳未満の妊娠届出件数(件)	1	(目標)	0	(予算)	50	B	・相談窓口の啓発を継続して実施します。 ・関係各課の取り組みと合わせて効率的に啓発等を行う方法を検討します		
							(実績)	0	(決算)	45				

基本方針2　子どもを安心して生み育てられるまちづくり													
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況			進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課
							目標・実績値	予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等		
(1)子どもと子育て家庭の健康の確保													
①妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援の充実	40	特定不妊治療費助成事業	特定不妊治療費助成金を交付することにより、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる不妊治療費の一部を負担し、不妊に悩む夫婦の支援を行います。	特定不妊治療費助成件数(件)及び助成額(千円)	助成件数 466件(延) 助成額 58,763千円	(目標)	助成件数 505件(延) 助成額 70,000千円	(予算)	70,085	B	不妊に悩む夫婦の不妊治療に係る経済的・精神的な負担の軽減を図ることにより、治療を受けやすくし、妊娠・出産の機会を増やす。引続き、制度の周知を図るとともに助成事業を継続し支援を行う。	(委員からの意見等を記入)	健康増進課
					(実績)	助成件数 366件(延) 助成額 62,802千円	(決算)	62,882					
	41	母子健康手帳の交付	医療機関で妊娠判定を受け、妊娠届けを出されたら母子健康手帳を交付します。母子健康手帳は、妊娠出産の経過、お子さんの乳幼児健診、予防接種の記録等大切な成長記録となります。また、妊娠期からの健康づくりに関する情報を提供します。	28週以降の妊娠届出件数(件)	7	(目標)	0	(予算)	885	B	・産後届出は0件。 ・医療機関や商業施設での妊娠届出場所の啓発を実施した。引続き奈良市オリジナルの母子健康手帳により正しい知識の普及に努め、継続実施する。 ・妊娠期からの切れ目ない支援を目指し、妊娠届出の際、必要時には妊産婦支援計画書を作成し、個人の状況に応じて支援を行っている。		健康増進課
						(実績)	7	(決算)	853				
	42	妊婦健康診査事業	妊婦健康診査にかかる費用の一部を助成することにより、妊婦の経済的負担を軽減し、未受診妊婦の解消を図るとともに、母体及び胎児の健康の保持・増進を図ります。	受診回数(回)	31,550	(目標)	30,180	(予算)	222,663	B	妊婦健康診査の重要性和補助券の利用方法の周知の徹底を図るとともに、医療機関等と連携し未受診妊婦の把握と支援に努める。また、全14回受診に係る妊婦健康診査の費用負担をさらに軽減させるべく予算の確保に努める。		健康増進課
						(実績)	30,243	(決算)	207,944				
	43	はじめてのママパパ教室／マタニティー歯っぴいチェック	妊婦とその家族に対して、妊娠・出産・育児、歯の健康・栄養についての必要な知識や技術を提供します。	参加者数(人)	ママパパ教室：434人、マタニティー歯っぴいチェック：158人	(目標)	ママパパ教室：576人、マタニティー歯っぴいチェック：360人	(予算)	550	B	「はじめてのママパパ教室」参加者数が減少したのは、平成28年度から対象妊娠週数を変更したためと考えられるが、妊娠後期の妊婦の体調不良はなかった。また、教室対象外の妊婦には個別で対応しており、今後も継続して実施する。 「マタニティー歯っぴいチェック」新規事業2年目であり、参加者数が増加してきており、周知度が高くなってきている。今後も自身の歯周病予防と生まれてくる児のむし歯予防に向けて継続実施。		健康増進課
						(実績)	ママパパ教室：529人、マタニティー歯っぴいチェック：208人	(決算)	536				
	44	妊産婦、新生児、未熟児訪問(保健指導事業)	妊産婦・新生児の家庭を訪問し、妊娠・出産・育児などの相談を行うとともに、適切な指導を行います。また未熟児については、保護者の育児不安が強く、早期に援助を必要とする対象者を医療機関等と連携しながら把握し支援します。	支援必要者への訪問実施率(%) 新生児訪問実施率(%)	支援必要者への訪問実施率100% 新生児訪問実施率97.5%	(目標)	支援必要者への訪問実施率100% 新生児訪問実施率98.0%	(予算)	3,343	B	妊娠届出時に訪問や相談窓口の周知を行っているが、支援・訪問拒否の家庭があり、養育面のハイリスク事例であっても介入できないことがある。その場合は必要に応じ通告を上げ、関係機関と情報共有、連携している。		健康増進課
						(実績)	支援必要者への訪問実施率100% 新生児訪問実施率97.4%(見込み)	(決算)	2,398				
	45	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)	生後4か月未満の乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する必要な情報提供等を行います。また、支援が必要な家庭に対しては助言を行い、乳児家庭の孤立化を防ぎ、保護者の育児不安等を軽減し、虐待の予防や子どもの健全育成を図ります。	面接件数(件)	2,482	(目標)	2,515	(予算)	5,464	B	全戸訪問の実現に向け事業周知を継続し、訪問できない家庭については、来所等による面接を積極的に勧奨し、全ての乳児と保護者に会うことを目指す。また、継続支援が必要な対象者には、関係機関と連携しながら支援を行う。		子育て相談課
						(実績)	集計中	(決算)	5,443				

基本方針2　子どもを安心して生み育てられるまちづくり															
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課	
							目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等			
	施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標										
		46	4か月健康診査(乳児一般健康診査)	生後4か月の時点で医療機関において、子どもの身体発達・運動発達・栄養状態を診査し、疾病の早期発見・早期治療・早期療養および育児指導を行い、乳児の健康の保持・増進を図るとともに育児不安の軽減を図ります。また、4 か月健康診査を登録医療機関で受診することで、小児科医にかかる機会を提供し、かかりつけ小児科医を持つ保護者の割合を増やします。	健診受診率(%)	97.6	(目標)	97.7	(予算)	13,207	A	失念や児・保護者の体調不良により受診できていない場合があるため、訪問時の健診案内や健診勧奨ポスターの掲示を関係機関の協力を得て、今後も実施していく。H29年度の間診票郵送の封筒の表側に受診期間に関する文章を掲載し失念等の防止に努める。 未熟児や疾病等により入院中であつたり、海外在住などの理由で受診できない児が例年2%いるため、98%の受診率を維持していく。		健康増進課	
			(実績)	98.1	(決算)		12,561								
		47	10か月健康診査(乳児一般健康診査)	生後10か月の時点で医療機関において、子どもの身体発達・運動発達・栄養状態を診査し、疾病の早期発見・早期治療・早期療養および育児指導を行い、乳児の健康の保持・増進を図るとともに育児不安の軽減を図ります。	健診受診率(%)	95.5	(目標)	95.6	(予算)	12,953	A	失念や児・保護者の体調不良により受診できていない場合があるため、訪問時の健診案内や健診勧奨ポスターの掲示を関係機関の協力を得て、今後も実施していく。H29年度の間診票郵送の封筒の表側に受診期間に関する文章を掲載し失念等の防止に努める。		健康増進課	
			(実績)	96.6	(決算)		12,536								
		48	1歳7か月児健診、1歳7か月児歯科健診	1歳7か月児に対して健康診査を行い、疾病・障がい・発達の遅れ等を早期に発見し、適切な指導を行うとともに、むし歯の予防・発育・栄養・生活習慣、その他育児に関する指導を行い、子どもの心身の安らかな成長の促進と育児不安の軽減を図ります。	健診受診率(%) 歯科健診受診率(%)	健診受診率 94.0% 歯科健診受診率 93.9%	(目標)	健診受診率 94.2% 歯科健診受診率 94.2%	(予算)	5,902	A	保護者の育児休業終了後の職場復帰により保育園入所児童が増え、内科健診や歯科健診が保育園でもあることから乳児期より受診率が減少する。例年90%前半の受診率であるため95%の受診率をめざしていた。今回95%に達したため今後も受診率の維持・向上をめざし関係機関の協力を得て、受診勧奨を行っていく。		健康増進課	
			(実績)	健診受診率 95.3% 歯科健診受診率 95.2%	(決算)		5,814								
		49	3歳6か月児健診、3歳6か月児歯科健診	身体の発育および精神発達の面から最も重要な時期である3歳児に対して健康診査を行い、運動機能・視聴覚発達などの障がいや疾病等を早期に発見し、適切な指導を行うことにより、障がい等の進行を未然に防止するとともに、むし歯の予防・発育・栄養・生活習慣、その他育児に関する指導を行い、子どもの心身の安らかな成長の促進と育児不安の軽減を図ります。	健診受診率(%) 歯科健診受診率(%)	健診受診率 89.0% 歯科健診受診率 88.7%	(目標)	健診受診率 89.2% 歯科健診受診率 89.2%	(予算)	6,642	A	年齢的に3年制の幼稚園・認定こども園に入園したり就労する養育者が増加し、内科健診や歯科健診が保育園・幼稚園等でもあることからこれまでの健診よりも受診率が減少する。今後も関係機関の協力を得て、受診勧奨を行っていく。 例年80%後半の受診率であるため90%の受診率をめざしていた。今回、目標値は達成したが今後も受診率の維持・向上をめざし関係機関の協力を得て、受診勧奨を行っていく。		健康増進課	
			(実績)	健診受診率 92.3% 歯科健診受診率 92.2%	(決算)		6,365								
			50	フッ化物塗布事業	幼児のむし歯予防とかかりつけ歯科医をもつきっかけづくりのために、2歳0か月児の希望者に実施します。歯科健診と歯みがき指導も併せて実施します。	塗布者数(人)	1,186	(目標)	690	(予算)	832	B		幼児期早期からのむし歯予防を保護者に意識していただくために、かかりつけ歯科医のない児については、そのきっかけ作りともなるため、できるだけ多くの児が塗布できるよう勧奨していく。H29年度には、1歳7か月児健診時に当事業の予約ができる体制を作る。	健康増進課
			(実績)	752	(決算)	808									
		51	乳幼児予防接種事業	子どもを感染症から守るため、予防接種を実施します。 〈個別接種〉 ・ヒブ感染症(生後2か月～5歳未満) ・小児肺炎球菌感染症(生後2か月～5歳未満) ・BCG(生後3～12か月未満) ・4種混合(生後3か月～7歳6か月未満) ・三種混合(生後3か月～7歳6か月未満) ・二種混合(小学校6年生) ・不活化ポリオ(生後3か月～7歳6か月未満) ・MR(麻しん・風しん) 第1期(1歳～2歳未満) 第2期(年長児) ・水痘(1歳～3歳未満) ・日本脳炎 第1期(生後6か月～7歳6か月未満) 第2期(9歳～13歳未満) ・ヒトパピローマウイルス感染症(小学6年生～高校1年生相当の女子)	予防接種率(%)	85.0	(目標)	87.0	(予算)	737,096	B	各予防接種対象者への個別通知等の積極的な勧奨及び関係機関との連携による啓発を行い、予防接種の知識と接種率の向上を図る。また、現在、国で検討中のロタウイルス及びおたふくかぜの予防接種の定期化の動向を注視していく。ただし、子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月14日以降、国によりワクチン接種と副反応の因果関係が明らかにされるまで積極的な接種勧奨の差し控えを継続しており、再開時期等については、今後の国の動向に準じて検討していく。	保健予防課		
		(実績)	88.0	(決算)	761,100										

基本方針2 子どもを安心して生み育てられるまちづくり														
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課
							目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等		
②健やかな成長発達を促すための相談体制・情報提供の充実	52	妊産婦・乳幼児健康相談事業	安心して妊娠・出産・育児が行えるよう公民館等の地域の身近な場所に出向き、保健師、助産師等が健康相談を実施します。また、親子の健康づくりに関する情報提供の場として、おやこブチ講座を実施します。	相談件数(件)	5,030	(目標)	5,100	(予算)	9,201	A	公民館等巡回は、H28年度より実施箇所を19か所にした。また、地域におけるおやこブチ講座については、各公民館等の講座の申し込み数や参加人数が少ないことから12回の実施とした。他課で地域子育て拠点への支援を行っているので連携を図りながら地域での身近な相談場所について検討していく。	(委員からの意見等を記入)	健康増進課	
	(実績)	5,057	(決算)	8,504										
	53	地域における幼児期からの歯の健康教育	保育所や地域の子育てサークルなどで、幼児と保護者を対象に幼児期に必要な歯の知識と正しい歯磨きの方法等について健康教育を実施します。	参加者数(保護者と子どもの人数)(人)	1,532	(目標)	1,600	(予算)	0	A	園が希望する年齢で口腔衛生指導を実施したことで、保護者へむし歯予防の大切さを伝えることの働きかけができています。次年度も継続して実施していく。1歳7か月児健診でのむし歯罹患率は平成27年度1.1%から平成28年度1.4%と増加、3歳児では平成27年度19.9%、平成28年度17.8%と減少はしているが、奈良市21健康づくり<第2次>で目標値と掲げている3歳児のう歯罹患率を15%に近づけるため、継続して実施します。		健康増進課	
	(実績)	1,400	(決算)	0										
	54	5か月児ばくばく教室(離乳食教室)	生後5か月児を持つ保護者に離乳食の進め方、子どもの発達・子育てについての知識提供を行うとともに、集まる場の設定をすることにより乳児期前期の養育者の孤立感に伴う育児不安の軽減を図ります。	参加者数(組)	861	(目標)	900	(予算)	0	B	今年度より対象者を第1子に絞り実施したため昨年度に比べ参加者数は減少したが、対象を絞ったことで保護者同士の悩みや不安が共有しやすかった。また第1子以外の保護者や教室に参加できなかった保護者に対しても離乳食のすすめ方を知らせる機会として市ホームページによる動画配信を開始している。		健康増進課	
	(実績)	689	(決算)	0										
	55	歯びかびか むし歯予防教室(1歳児むし歯予防教室)	1歳0か月児～1歳2か月児の保護者に、乳歯のむし歯予防の知識と歯の手入れの実習についての知識提供を行います。また、保護者自身にも歯の健康に関心を持ってもらい、成人期の歯周病予防を図ります。	1歳7か月児健診う歯罹患率(%)	1.1	(目標)	う歯罹患率1%以下	(予算)	50	B	今年度より対象者を第1子に絞り実施したことで、保護者同士の悩みや不安が共有しやすかった。また、事業参加してもらうことで、母親同士の交流にもつながっている。次年度も同様の内容で実施する。		健康増進課	
	(実績)	1.4	(決算)	40										
	56	きしゃぽっぽ教室(発達支援教室)	1歳7か月児及び3歳6か月児健康診査後の事後指導の場として、遊びやグループワークを通して、子どもの発達や適切な関わり方を学び、親同士が悩みを共有することで育児不安の軽減及び子どもの発達の理解・受容につなげるために実施します。	きしゃぽっぽ教室参加延べ人数(組)	310	(目標)	420	(予算)	447	B	子どもの発達の遅れについての理解を深められるように、教室の内容や取り組みについての検討をおこなった。定員20組から15組に変更し、スタッフの目が行き届きやすく声かけしやすいうように改善した。		健康増進課	
	(実績)	285	(決算)	462										
	57	すくすく相談	育児や発達に関する相談に応じ育児不安を軽減します。また、適切な子育て情報を発信します。	—	—	(目標)	—	(予算)	0	E	相談先の増加により気軽な相談窓口としての利用は減少傾向にある。発達の相談については、その時に適切に行っていくため、随時の相談で対応していく。必要性が低くなったため、来年度から当事業は廃止する。		健康増進課	
	(実績)	—	(決算)	0										
	58	発達相談	幼児健康診査後の精神発達面の状態を個別の検査を用いて確認します。	—	—	(目標)	—	(予算)	0	B	実績が前年度より減少しているのは、発達センターができ子どもの状態に応じた役割分担が進んできたことが影響している。今後は1歳7か月児健診後の早期の支援に重点を置く。また、関係機関との情報共有や調整などを継続する。		健康増進課	
	(実績)	—	(決算)	0										

基本方針2　子どもを安心して生み育てられるまちづくり															
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課	
							目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等			
	施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標										
		59	妊産婦の喫煙・飲酒対策事業	妊産婦・胎児・乳児へのタバコ・アルコールによる健康被害を防ぐための啓発、相談を行います。	妊婦喫煙率(%) 妊婦飲酒率(%)	妊婦喫煙率3.6% 妊婦飲酒率0.9%	(目標)	妊婦喫煙率3%以下 妊婦飲酒率0.5%以下	(予算)	0	B	妊娠届出時から早期の保健指導ができるように今後も継続実施する。		健康増進課	
		(実績)	妊婦喫煙率2.2% 妊婦飲酒率1.1%	(決算)	0										
③小児医療体制等の充実		60	休日・夜間応急診療所、休日歯科応急診療所の充実	子どもの急病に対応するため、休日・夜間における救急医療体制の充実を図ります。	全診療時間に対する小児科医配置時間(%)	51	(目標)	50	(予算)	311,224	B	前年度に引き続き、小児科医の配置を進めることや診療の空白時間帯の解消を図るための診療時間の見直し等を行っていく。	(委員からの意見等を記入)	病院管理課	
							(実績)	53	(決算)	301,036					
(2)地域の子育て支援の充実															
①子育て中の親子の居場所づくりの推進	61	地域子育て支援拠点事業	乳幼児と保護者が気軽に集い、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。	子育て中の親子の集える場の利用者数(年度末時点)(人)	148,337	(目標)	150,910	(予算)	102,896	B	父親を対象としたイベント・講座等の開催回数を増やすとともに、父親が参加しやすい雰囲気づくりも意識して取り組んでいく。 また、民生児童委員等の地域の子育て支援者と協力・連携を図り地域の活性化につなげていく。	(委員からの意見等を記入)	子ども育成課		
						(実績)	159,153	(決算)	102,877						
	62	子育てスポット事業	公共施設の空きスペースで、月1〜2回、乳幼児と保護者が気軽に集って、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。	子育て中の親子の集える場の利用者数(年度末時点)(人)	148,337	(目標)	150,910	(予算)	5,250	B	地域子育て支援拠点等の子育て支援団体及び地域の子育て支援者との交流・連携の強化を図る。また、こども園の子育て支援事業との協働・連携など、時代や地域のニーズに沿った運営をしていく。		子ども育成課		
						(実績)	159,153	(決算)	5,078						
	63	子育てスポットすくすく広場事業	福祉センターで、主として乳幼児(0〜3歳)と保護者が気軽に集える場を提供し、高齢者から昔ながらの遊びや昔話を教えてもらうなど、異世代間における交流を行います。	子育て中の親子の集える場の利用者数(年度末時点)(人)	148,337	(目標)	150,910	(予算)	40,764	B	子育てスポットすくすく広場は土曜日も開催しているが、父親の参加が課題であるため、父親を対象としたイベント・講座等の開催回数を増やすとともに、父親が参加しやすい雰囲気づくりも意識して取り組んでいく。		子ども育成課		
						(実績)	159,153	(決算)	40,350						
	64	市立こども園の地域活動の推進	地域に開かれたこども園として、地域の様々な人との交流を推進するとともに、未就園児の親子登園や子育て相談を実施する等、地域の子育て支援の拠点として子育て支援の充実を図ります。	市立こども園全園に評議員4名を配置する割合(配置した評議員数÷施設数×4名)(%)	24	(目標)	36	(予算)	—	B	学校評議員制度の充実を図り、園だけでなく様々な立場の方に園教育・保育についての評価をもらい、その意見を活かしていく。園児が様々な人と関わる中で豊かな経験を積み重ねていきたい。 子育て支援においてはホームページなどを利用し、情報発信をし、保護者の子育て相談にも積極的に応えるように努める。		こども園推進課		
						(実績)	30	(決算)	—						
	65	地域に開かれた幼稚園・保育所づくりの推進	地域の仲間とふれあう機会が少なくなっている幼児や、子育てに孤立感・不安感を抱えている保護者のために、園庭・園舎を開放し、在園児との交流や未就園児の親子登園を実施します。	—	—	(目標)	—	(予算)	—	B	未就園児親子登園を充実させることで、在園児だけでなく、その保護者に対しても子育ての情報を積極的に伝え、子育て相談を行うことにより地域全体で子育てに取り組める体制づくりを行う。また、安心して遊べる場として今後も園庭を開放し、保護者同士、子ども同士の交流の場を提供していく。		こども園推進課		
						(実績)	—	(決算)	—						
	66	公民館での各種教室・講座	公民館の特性を生かし、各年度において、各種子育て支援事業を実施します。 ①親子が集える「場」の提供・情報提供事業 ②子育て支援教室・講座(保護者対象) ③体験教室・講座(親子対象) ④体験教室・講座(児童対象) ⑤地域の子育て力向上をめざした教室・講座(市民対象)	子育て支援に関する事業数(事業)	160	(目標)	165	(予算)	1,644	B	平成28年度も引き続き、子育て中の親の課題やニーズに応えられるよう、また子どもたちの豊かな育ちを支援できるよう、多彩な事業を実施した。 最近は親も子も忙しく、日常生活の中でゆつくりと共同体験をする機会が少ないことから、特に親子対象の体験講座の充実を図り、親子の絆を深めることをめざした。 子ども・子育て会議における意見等を参考に、地域や各種団体の協力を得ながら、今後も継続して取り組んでいく。		生涯学習課 (奈良市生涯学習財団)		
						(実績)	161	(決算)	1,685						

基本方針2 子どもを安心して生み育てられるまちづくり															
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課	
							目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等			
②多様な子育て支援サービスの充実	67	保育所等における一時預かり事業	保護者のパート就労や病気等により、家庭において保育を受けることが一時的に困難となる場合や、保護者の育児の負担軽減やリフレッシュのため、乳幼児を保育所等において一時的に保育し、子育て世帯の支援を図ります。	一時預かり利用者数(人)	11,062	(目標)	13,032	(予算)	51,240	B	多様化する保護者のニーズに対応するため、一時預かり事業を実施する市内私立保育所等の拡充を目指す。	(委員からの意見等を記入)	保育所・幼稚園課		
						(実績)	10,392	(決算)	42,210						
	68	地域子育て支援拠点における一時預かり事業	地域子育て支援拠点の利用経験のある乳幼児を対象に、一時預かりを行い、地域の子育て家庭に対してよりきめ細やかな支援をします。	一時預かりを実施する地域子育て支援拠点数(箇所)	6	(目標)	6	(予算)	17,640	A	引き続き、6か所の地域子育て支援拠点において一時預かりを実施していく。利用促進に向け、開設時間・利用料金等の見直しを検討する。また、効果的な広報活動を展開していく。		子ども育成課		
						(実績)	6	(決算)	17,640						
	69	病児・病後児保育事業	児童が病気や病気の回復期で、保護者の仕事の都合等で家庭での保育が困難な場合に、児童を一時的に専用施設で預かります。	病児・病後児保育利用児童数(人)	1,373	(目標)	1,038	(予算)	30,257	B	事前に予約がない当日申込みでの利用に対応するため、定員一杯まで預かることができる適切な数の看護師・保育士を配置し、保護者が利用しやすい運営になるよう、実施施設に対し働きかけを行っていく。		保育所・幼稚園課		
						(実績)	1,202	(決算)	30,103						
	70	子育て短期支援事業	緊急一時的に児童の養育が困難になった場合に、児童を7日間を限度に預かり、養育・保護を行います。(ショートステイ事業) 仕事等の理由で帰宅が遅くなり、長期に児童の養育が困難な場合に、午後2時から10時までの時間帯のうち、1日4時間、6か月の範囲で児童を預かり、養育・保護を行います。(トワイライト事業)	年間延べ利用者数(人日)	342	(目標)	300	(予算)	1,900	B	子育て相談課、健康増進課及びこども家庭相談センター等の関係機関と連携し、情報共有化を図り、子育て親子を支援していく。 また、里親制度の活用など、より利便性の高い制度設計を検討していく。		子ども育成課		
						(実績)	225	(決算)	1,325						
	(3)子育てに関する情報提供の推進と経済的な支援の充実														
	①子育てに関する相談体制・情報提供の充実	71	利用者支援事業	就学前の子どもとその保護者や妊娠している方が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所で情報収集や提供のほか、必要に応じて相談・助言等を行います。	利用者支援事業の実施箇所数(箇所)	1	(目標)	1	(予算)	0	A		29年度より、子ども育成課に専門職の子育てナビゲーター(2名)を配置し、利用者支援事業基本型を実施する。窓口及び電話相談の実施や、子育て支援拠点等を巡回し、地域のスタッフが相談を受けた案件のうち、より支援が必要な子育て家庭に対しては、専門機関との連携を図り支援につなげていく。 また、配置したコンシェルジュの能力向上のため、研修の参加が必要である。	(委員からの意見等を記入)	保育所・幼稚園課 子ども育成課
							(実績)	1	(決算)	0					
		72	子育て世代支援PR事業	本市の子育て情報をわかりやすく掲載した子育ておうえんサイト「子育て@なら」を運営するとともに、本市の子育て情報を一冊にまとめた「なら子育て情報ブック」を作成・配布します。	奈良市の子育ておうえんサイト「子育て@なら」のページビュー数(件)	125,494	(目標)	126,000	(予算)	2,390	B		ホームページをより多くの人に利用してもらえるよう、アンケート調査とアクセス解析を行い、より魅力あるコンテンツへの更新を定期的に行うとともに、いろいろな情報を収集できるようFacebook、LINEなど、SNSでの情報の配信方法も改善していく。また、奈良市の子育て応援キャラクターの着ぐるみを様々なイベント等に派遣するなど、奈良市が子育て支援事業に積極的に取り組んでいることを全国に向かってPRしていく。		子ども政策課
(実績)							105,605	(決算)	1,665						
73		家庭児童相談室運営事業	子どもの生活習慣、学校生活、家庭環境等、児童と家庭の福祉の向上を図るため、家庭児童相談室を設置しています。	家庭児童相談員数(人)	2	(目標)	2	(予算)	4,472	B	市民の身近な相談室として活用されるよう広報活動を積極的に行うとともに、県中央こども家庭相談センター、保健所、学校、民生児童委員等との連絡協調を緊密に図り、家庭の福祉の向上に努める。 また、事業内容を具体的に紹介するよう努める。	子育て相談課			
						(実績)	2	(決算)	4,238						
74		幼稚園や保育所の子育て相談	幼稚園や保育所への電話や来園により、子育ての悩みや育児相談を行います。	—	—	(目標)	—	(予算)	—	B	子育てに不安を抱えている保護者に対して園全体で常に相談できる体制を整えている。外部の相談機関を掲示して知らせたり、常に新しい情報を発信して園だけでなく奈良市全体で支えていける環境づくりに取り組んでいく。	こども園推進課			
						(実績)	—	(決算)	—						

基本方針2 子どもを安心して生み育てられるまちづくり														
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況			進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課	
							目標・実績値		予算・決算額(千円)	評価	課題や今後の改善点等			
	施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標									
②子育て家庭への経済的な支援の充実		75	家庭教育推進事業	子どもや家庭教育を取り巻く諸問題の解決と家庭の教育力の向上を図り、これからの家庭教育のあり方、親の役割について考えるため講演会等を実施します。	「家庭教育支援事業」を実施している公民館数(館)	5	(目標)	6	(予算)	234	B	今後も引き続き、取組館で家庭教育支援事業を継続して実施し、子どもたちが地域社会の中で心身ともに健やかにたくましく成長できる環境整備を目指す。また、本事業の仕組みづくりが難しい地域もあるため、地域団体と公民館職員が家庭教育支援における地域や公民館の役割と機能を学ぶ研修等を行い、どの地域においても課題解決を図る仕組みが構築できるようにする。		生涯学習課
							(実績)	6	(決算)	234				
		76	子ども医療費助成	健康保険に加入している中学校修了前(15歳到達後最初の3月31日まで)の子どもを対象に、保険診療の自己負担額(入院時の食事療養費は除く)から一部負担金を除いた額を助成します。ただし、中学生は入院のみの助成です。	—	—	(目標)	—	(予算)	685,000	A	平成28年8月からは助成対象を更に拡大し、中学生の通院も助成対象とした。これにより中学校修了までの子どものすべての保険診療が助成対象となり、子どもの健やかな成長により一層寄与するものとなった。 また、国による子ども医療費助成の早期創設の要望も、国に対して、引き続き行っていく。	(委員からの意見等を記入)	子ども育成課
					(実績)		—	(決算)	707,952					
		77	就園奨励費補助	私立幼稚園に通う保護者の経済的負担の軽減を図ります。	補助限度額について、本市の基準額が国の基準を下回っている階層の数	11	(目標)	11	(予算)	107,000	C	子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に通う園児の保護者に対しては、幼稚園就園支援事業を継続して実施するとともに、補助限度額と補助対象者の拡充について検討を行う。		保育所・幼稚園課
					(実績)		11	(決算)	105,268					
		78	就学援助	小・中学校の就学が経済的に困難な世帯に必要な援助を行い、安心して義務教育を受けられる環境を整えます。	—	—	(目標)	—	(予算)	223,519	B	保護者及び学校、関係各課への周知を進め、対象世帯に届くよう広報していく。支給内容、支給時期についても、新入学準備金の入学前支給など、より対象世帯の生活実態に沿ったかたちになるよう改善していく。		教育総務課
					(実績)		—	(決算)	209,656					
		79	特別支援教育就学奨励事業	特別支援学級への就学のために必要な援助を行い、特別支援学級に在籍する児童・生徒が安心して義務教育を受けられる環境を整えます。	—	—	(目標)	—	(予算)	18,770	B	国の補助事業であり、今後も特別支援学級に在籍する小中学生が、安心して義務教育を受けることができるよう、国の基準に沿った継続を実施していく。また、特別支援学級在籍者の増加を視野に入れ、制度内容や申請手続きについて保護者に分かってもらえるよう、通知文書の配布を含めて学校との連携に一層努めていく。		教育総務課
					(実績)		—	(決算)	14,171					
(4)様々な状況にある子どもと子育て家庭への支援の充実														
①ひとり親家庭への支援の充実	ひとり親家庭への支援の充実	80	ひとり親家庭等医療費助成	健康保険に加入しているひとり親家庭の父または母と18歳未満(18歳到達後最初の3月31日まで)の子や父母のいない18歳未満の子を対象に、保険診療の自己負担額(入院時の食事療養費・生活療養費は除く)から一部負担金を除いた額を助成します。	—	—	(目標)	—	(予算)	180,220	A	今後も引き続き、制度の周知・啓発に努める。	(委員からの意見等を記入)	子ども育成課
							(実績)	—	(決算)	184,751				
		81	ひとり親家庭等相談	母子家庭、父子家庭、寡婦または離婚前の方に対し、生活や家庭、子どもの養育、就職や自立の支援、母子及び父子並びに寡婦福祉資金の利用等の相談に応じます。	相談件数(件)	1,858	(目標)	1,600	(予算)	4,413	B	様々な社会的要因などにより、今後の相談内容も多岐にわたると考えられる。 また、ひとり親家庭の中には日中窓口に相談に訪れることが困難な家庭もあるため、ICT活用による相談体制の充実を含め、関係機関と連携しながらひとり親家庭がより相談しやすい体制づくりに取り組んでいく。		子育て相談課
					(実績)		2,116	(決算)	4,356					
		82	ひとり親家庭等日常生活支援事業	修学や求職等の自立に必要な理由や疾病等の社会的理由で一時的に生活援助や保育サービスが必要な母子家庭、父子家庭、寡婦の世帯に、家庭生活支援員を派遣します。	ひとり親家庭等日常生活支援事業の延べ利用回数(回)	28	(目標)	10	(予算)	450	B	ひとり親家庭の子育てと仕事等の両立のために必要な制度である。今後も効果的に周知を行い、登録者の増加と利用促進を図るとともに、より利用しやすい制度となるよう、支援内容の見直しを行っていく。		子育て相談課
					(実績)		64	(決算)	422					
		83	母子家庭等就業・自立支援センター事業	母子家庭の母、父子家庭の父、寡婦の自立を支援するため、就業相談、就業支援講習会、就業情報提供等の施策を総合的・計画的に実施します。	利用人数(人)	4,285	(目標)	4,000	(予算)	5,452	B	平成28年度から養育費等相談をスマイルセンターで実施することとなったことに加え、新たにひとり親家庭を対象とした弁護士相談を開始した。 今後も機会を捉えて周知し、新規利用者の拡大を図る。		子育て相談課
					(実績)		4,394	(決算)	4,847					

基本方針2 子どもを安心して生み育てられるまちづくり														
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課
							目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等		
	施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標	7	(目標)	10	(予算)	261	B	平成29年度より国の制度改革に伴い、雇用保険の教育訓練給付金対象者についても対象者となることで、今後制度の対象者及び利用者の増加が見込まれる。 新たな対象者へ機会を捉えて情報提供するとともに、引き続き制度の周知を行い利用の促進を図る。		子育て相談課
		(実績)	1	(決算)	47		子育て相談課							
	85	母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業	母子家庭の母、または父子家庭の父が就業に結びつきやすい資格を取得するために養成機関で受講するに際して、高等職業訓練促進給付金を交付することで、受講期間中における生活の不安の解消および生活の負担の軽減を図り、安定した修業環境を提供し、資格取得を容易にします。	母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業の利用人数(人)	22	(目標)	38	(予算)	34,289	B	就職に有利な資格取得を支援することで、正規の就労に結び付け自立を促進していく。平成28年度対象資格を拡大したほか、状況に応じて通信制の利用を認めたことにより、今後さらに利用者の増加が見込まれる。養成機関と連携を図りながら、機会を捉えて周知を行っていく。	子育て相談課		
		(実績)	27	(決算)		26,449	住宅課							
	86	公共賃貸住宅における母子・父子世帯向けの優先入居制度の活用	市営住宅の空家募集において、母子世帯または父子世帯で20歳未満の子がいる世帯に対する優先入居制度を実施します。	母子父子世帯向け住宅の新規募集件数(件)	2	(目標)	—	(予算)	—	B	今後も現行の取り組み方針を継続する。	住宅課		
		(実績)	1	(決算)		—								
②障がいのある子どもと子育て家庭への支援の充実	87	放課後児童健全育成事業施設における障がい児の受け入れ推進	放課後に就労等で保育のできない世帯の小学生を対象に、バンビーホームを開設しており、障がいの程度・内容に応じて指導員の加配をしながら、障がい児の受け入れを推進します。	障がい児受け入れ施設数	39	(目標)	46	(予算)	629,320 (放課後児童健全育成事業に含む)	B	静養室が未設置のホームもあるため、施設の改善も進めながら、今後も障がい児の受け入れを行っていく。	(委員からの意見等を記入)	地域教育課	
						(実績)	39	(決算)	619,207 (放課後児童健全育成事業に含む)				障がい福祉課	
	88	短期入所	居宅においてその介護を行う方の疾病その他の理由により、障害者支援施設、障害福祉施設等への短期間の入所を必要とする障がい児につき、当該施設に短期間の入所をさせて、入浴、排泄及び食事の介護その他の必要な支援を行います。	実利用者数(人)	174	(目標)	210	(予算)	161,000	A	今後も継続して子どもの状況に応じたサービス決定を行っていく。		障がい福祉課	
						(実績)	200	(決算)	170,790				障がい福祉課 子育て相談課	
	89	障害児通所支援	障がい児を児童発達支援センター等の施設に通わせ、年齢に応じて日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の伝達及び集団生活への適応訓練を行います。	障害児相談支援事業所による利用計画作成割合(%)	90	(目標)	82	(予算)	810,071	A	障がい児の発達支援、家族支援、地域支援をさらにすすめるように、事業所の相談体制や支援方法について強化していく必要がある。相談支援専門員や関係機関が協議し方向性や支援方法を見極めていくことを継続していく。		障がい福祉課	
						(実績)	86	(決算)	879,304				子育て相談課	
	90	居宅介護	居宅において、入浴、排泄及び食事等の介護ならびに生活等に関する相談及び助言その他生活全般にわたる支援を行います。	実利用者数(人)	792	(目標)	830	(予算)	916,000	A	今後も継続して子どもの状況に応じたサービス決定を行っていく。		障がい福祉課	
						(実績)	838	(決算)	957,576				障がい福祉課	
	91	行動援護	知的や精神に重い障がいがあり、一人で行動することが難しい障がい者児が対象です。 対象児のことをよくわかっているヘルパーが、そばにいて、安心して外出し、活動できるよう支援を行います。	利用者数(人)	191	(目標)	210	(予算)	253,000	A	今後も継続して子どもの状況に応じたサービス決定を行っていく。		障がい福祉課	
						(実績)	208	(決算)	238,600				障がい福祉課	
	92	奈良市歯科診療	みどりの家歯科診療所(総合福祉センター内)において、障がい児の歯科検診及び治療を行います。	延べ治療人数(人)	157	(目標)	164	(予算)	9,032	A	年2回の歯科検診とともに、治療が必要な障がい児を順に治療している。また、必要に応じて定期的に診察を行うなどして重症化を未然に防ぎ、軽症のうちに治療する方針で取り組んでいる。		障がい福祉課	
						(実績)	185	(決算)	8,791				障がい福祉課	
93	日中一時支援	家族の就労支援や一時的な休息を目的に、障がい児の一時的な介助や見守りが必要な場合に、日帰りで施設を利用することができます。 ※施設入所者及び病院に入院されている方は、利用できません。	延べ利用回数(回)	5,729	(目標)	8,400	(予算)	13,040	B	ニーズが多様化している中で、対象者が家庭での時間も大切にできるよう利用方法の見直しをしており、適時説明を行い事業を推進していく。	障がい福祉課			
					(実績)	5,912	(決算)	13,686						

基本方針2 子どもを安心して生み育てられるまちづくり														
基本目標						直近の状況 (平成27年度実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課
							目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等		
	施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標									
		94	移動支援	障がい児の外出及び余暇活動等の移動を支援します。 ただし、通学及び社会通念上適当でない外出を除き、原則として1日の範囲内で終わるものに限ります。※病院に入院されている方は、利用できません。	実利用者数(人)	1,079	(目標)	1,100	(予算)	237,000	B	対象者が増加していく中で、より多くの方にサービスを利用できるように時間数の上限を対象者別に設けており、適時説明を行い事業を推進していく。		障がい福祉課
					(実績)		1,101	(決算)	237,046					
		95	みどり園	総合福祉センター内の障がい児親子通園室「みどり園」において、就学前の障がい児を対象に、保護者とともに通園し日常生活において必要な指導を行い、集団生活への適応を促すよう療育を実施しています。また、家族支援も行っています。	在籍者数(人)	123	(目標)	126	(予算)	27,929	C	児童発達支援事業所が増え、利用者は減少傾向だが、低年齢児は親子関係を築くことが第一目標である点で、みどり園の家族支援の役割は重要度を増しており、利用者を増やすための方策を今後検討したい。一人ひとり細やかな支援を実施したいが、職員数が減少している中、親子共への十分な支援のためにも環境整備が重要だと思われる。		障がい福祉課
					(実績)		110	(決算)	27,735					
		96	相談支援事業	障がい児が、地域で安心して自立した生活を送るために、本人や関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言などを総合的に行います。	障害児相談支援事業所による利用計画作成割合(%)	90	(目標)	82	(予算)	46,000	A	・相談支援事業所の質の向上やサービスを提供する事業所との連携を図る。 ・相談支援専門員の拡充を図るため、人材育成のための各機関の支援方法等について検討が必要。		障がい福祉課
					(実績)		86	(決算)	30,815					
		97	親子体操教室	総合福祉センター体育館において障がい児と保護者が、一緒にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、健康の維持・増進を図ることを目的に実施しています。	延べ利用者数(人)	1,914	(目標)	1,930	(予算)	175	C	前年から利用者が減少している。継続した参加者が多くみられるため、新規参加者の拡大を図りたい。 講師・スタッフの増員により、さらなる安全面強化に努めたが、万全とまでは言えないため引き続きボランティアを確保するなどしていきたい。		障がい福祉課
					(実績)		1,785	(決算)	175					
		98	子ども発達支援事業	心理的な発達の障がい並びに行動及び情緒の障がいのある就学前の幼児又は発達支援の必要があると認められる就学前の幼児とその保護者に対して、相談・療育の場を設け、心理的な発達を関係機関と協働しながら一貫して支援します。	子ども発達センターが療育相談を行った実人数(人)	356	(目標)	377	(予算)	27,146	B	市内の幼稚園等に就園する4歳児のいる家庭に『乳幼児の発達に関する相談窓口』リーフレットを配布するとともに、幼稚園等を巡回・訪問する機会を増やすなど、引き続き事業の周知に努める。		子育て相談課
					(実績)		449	(決算)	24,900					
		99	長期療養児支援	障がい児が適切な医療ケアや医療・福祉制度を利用しながら在宅で生活が送れることや、保護者は地域の人や専門職の支えを受けながら安心して子育てができるように、訪問や相談等を実施します。	家庭訪問、関係機関等へ訪問等、延べ支援回数(回)	215	(目標)	250	(予算)	38	B	支援対象者の医療ケア、支援内容が多様多様になってきており、対象者数も増加している。今後も関係機関と連携し継続支援を実施。		健康増進課
					(実績)		216	(決算)	11					
③児童虐待防止などの取り組みの充実	100	被虐待児童対策地域協議会の活用	児童虐待の未然防止・早期発見・再発防止のため、児童相談所、医療機関、民生児童委員協議会連合会、弁護士、警察などの関係機関が連携して、虐待から子どもを守るために「奈良市被虐待児童対策地域協議会」を設置しています。	個別ケース検討会議開催数(回)	251	(目標)	245	(予算)	12,260	B	児童虐待の予防・早期発見・再発防止のため、啓発活動や家庭児童相談の充実を図り、子どもと接する機会の多い教諭や、地域を見守る民生児童委員等との更なる連携を深めていく。支援者への研修を引き続き行い、関係機関のスキルアップを図っていく。	(委員からの意見等を記入)	子育て相談課	
						(実績)	322	(決算)	7,871					
	101	養育支援訪問事業	保護者の養育を支援することが特に必要と認められる家庭等に対し、訪問などにより、養育に関する相談、助言などの支援を行います。	支援家庭数	30	(目標)	40	(予算)	456	B	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)の後に、養育に関する相談・助言が必要な家庭に対して、家庭訪問を継続して実施する。また、必要時関係機関と連携し、支援を行う。		子育て相談課	
						(実績)	23	(決算)	438					
	102	家庭訪問	育児が困難で支援が必要と思われる家庭を訪問し、生活環境と養育状況・家庭環境・子の成長発達などを総合的に把握し、必要な支援を行うことにより、保護者の育児不安や育児ストレスの軽減を図り虐待予防に努めます。	訪問数	乳児(新生児・未熟児除く)682人 (延べ791人) 幼児383人(延べ562人)	(目標)	必要な家庭への訪問を実施する	(予算)	0	B	職員数の減少や業務量の増加により、適切な時期に支援ができていない場合がある。 要支援者の進行管理と共に、要支援者の基準などについて再検討し、業務整理をしていくことで、適切な時期に関われるようにしていく。また、必要に応じ他課・他機関と連携していく。	健康増進課		
				(実績)		乳児(新生児・未熟児除く)540人(延べ653人) 幼児336人(延べ505人)	(決算)	0						

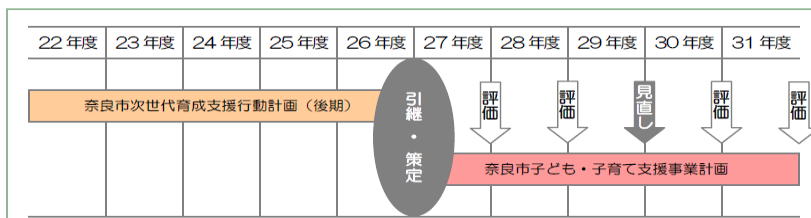
基本方針3 地域全体で子どもと子育て家庭を見守るまちづくり																	
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況			進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課				
							目標・実績値	予算・決算額(千円)	評価	課題や今後の改善点等							
施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標													
(1)地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりの推進																	
①地域における子育て支援活動の充実	103	ファミリー・サポート・センター事業	「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」が依頼・援助・両方のいずれかの会員として登録し、児童の放課後の預かりや保育所等の送迎等で育児の援助が必要となったときに、会員相互の援助活動を行います。	ファミリー・サポート・センターの相互援助活動件数(件)	6,183	(目標)	6,988	(予算)	7,434	B	依然として、援助会員が少ない状況にあるため、積極的な広報活動や援助を行いやすい環境づくりに引き続き取り組み、援助会員及び両方会員の増加を図る。 また、地域子育て支援拠点等の子育て支援団体及び民生児童委員等の地域の子育て支援者との交流・連携の強化を図り、地域における子育て支援を更に充実させていく。	(委員からの意見等を記入)	子ども育成課				
						(実績)	6,695	(決算)	7,419								
	104	子育て支援アドバイザー事業	子育て支援アドバイザーとして登録した地域の子育て経験豊かな市民を、乳幼児と保護者が集まる場所に派遣し、保護者の子育てに関する疑問や悩みに対する相談等を行います。	子育て支援アドバイザーの派遣回数(回)	630	(目標)	500	(予算)	1,224	A			引き続き、子育て支援アドバイザー事業を地域子育て支援拠点事業の実施団体に委託することで、子育て支援に関する専門知識や経験豊富な拠点スタッフがアドバイザー業務に携わることとなり、子育て支援のさらなる連携の強化と事業内容の充実を図る。また、各地域子育て支援拠点等との連携・協働を図ることで、地域における子育て支援を更に充実させていく。	子ども育成課			
						(実績)	550	(決算)	1,224								
	105	子育てサークルの支援	地域で活動する子育てサークルに補助金を交付することにより、経済的に支援するとともに、サークルを含めた地域の子育て支援団体を対象にした交流会を行うことにより、情報交換等のネットワーク化を図り、子育て中の保護者が自主的に運営する子育てサークルを支援します。	子育て支援交流会の開催回数(回)	7	(目標)	7	(予算)	1,000	B					サークル運営補助金の交付による経済的な支援と併せ、地域子育て支援拠点や地域の子育て支援者を対象とした「子育て支援交流会」等の各種交流会を実施し、関係機関及び子育て支援者等の交流・連携の強化を図ることにより、地域で自主的に活動する「子育てサークル」を支援していく。	子ども育成課	
						(実績)	7	(決算)	631								
②地域における子どもの見守り活動の推進	106	交通安全教室の開催	学校園に出向き、警察と協力して横断歩道の渡り方、正しい自転車の乗り方などの交通ルールをビデオ・人形劇等でわかりやすく説明するとともに、信号機を使った実技指導なども併せて行い、子どもたちに交通事故から身を守るすべを身につけてもらうために開催します。	交通安全教室実施率(%)	62.1	(目標)	63	(予算)	4,189	B	今後も引き続き、決め細やかな交通安全教室の実施に向け取り組んで行く。 ・平成27年6月の法改正により、一層正しい運転が定められた自転車の乗り方やルール指導 ・横断歩道や交差点での歩行指導 ・教員や保護者に対する立哨指導	(委員からの意見等を記入)					交通政策課
						(実績)	50.2	(決算)	4,181								
	107	学校・家庭・地域が連携した防犯力の充実	「子ども安全の日の集い」を開催する等、子どもの安全に取り組む大人の防犯意識を高めます。	「子ども安全の日の集い」参加人数(人)	320	(目標)	300	(予算)	1,302	B			奈良市で発生した小1女児殺害事件の風化させないよう、子どもを守る大人の意識を高め、維持するために、時宜にあった「子ども安全の日の集い」を開催する必要がある。また、「なら子ども安全宣言」の発表を受け、実効性のある取組を継続して進め、平時からの備えを身に付ける。 見守り活動の継続については、次世代の担い手確保という課題があり、より多くの大人の協力が得られるよう取組を進めていく必要がある。	いじめ防止生徒指導課			
						(実績)	330	(決算)	1,283								
	108	不審者情報の配信	子どもたちの登下校時の安全確保のために、警察と連携して、学校園や地域から入ってくる不審者の情報を「なら子どもサポートネット」登録者に配信します。	「なら子どもサポートネット」登録者数(人)	25,150	(目標)	25,000	(予算)	368	B					不審者情報や子どもの安全安心情報については、保護者や市民のニーズが高く、「なら子どもサポートネット」の今後の安定した運営と、登録者を増やすために、「ならしみんなだより」への掲載や登録案内配布等の啓発活動が必要である。また、「ナボくんメール」等の安全情報を発信している他の関係機関(奈良県警)と情報共有を図ることも重要である。	いじめ防止生徒指導課	
						(実績)	25,369	(決算)	303								
	109	「子ども安全の家」標旗配布	子どもを犯罪や事故から守るため、地域の家庭などに「子ども安全の家」になってもらい、家の入口などに「安全の家」標旗を掲げ、子どもが危険を感じた時に、助けを求めて駆け込める場所を提供してもらい、地域で子どもを守る機運を広めます。	「安全の家」標旗延設置件数(件)	4,812	(目標)	5,000	(予算)	206	B	「子ども安全の家」標旗は、家の入口など目立つ場所に設置していただいているが、子どもたちが、校区の中のどこに設置されているのかを把握できていないこともあり、標旗設置場所を把握できるような取組を実施している小学校もある。さらに、そのような取組を奈良市の各学校へ広めていきたい。全小学校において、「子ども安全の家」標旗の設置場所を把握するための取組を推進	いじめ防止生徒指導課					
						(実績)	4,537	(決算)	180								

基本方針3 地域全体で子どもと子育て家庭を見守るまちづくり														
基本目標					直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課	
						目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等			
(2)仕事と子育ての両立支援の推進														
①男女共同の子育て の促進と子どもを大切 にする社会的な機運の 醸成	110	イクメン手帳の配布	奈良市オリジナルのイクメン手帳「IKUMEN HANDBOOK for nara papa」を母子健康手帳交付者及び子育て中の希望者に配布します。	イクメン手帳配布 部数(部)	2,782	(目標)	2,950	(予算)	341	C	引き続き子育て支援に関わる研修会において、各 窓口及び相談者に手に取ってもらえるよう配布を行 う。また、必要としている方に情報を届けることがで きるようイベント等での配布を行っていく。	(委員からの意見等を記入)	男女共同参画 課	
					(実績)	2,808	(決算)	292						
	111	仕事と生活の調和推進事 業	事業主や企業を対象に、育児休業の取得促進や労働 時間等の改善など、仕事と生活の調和のとれた働き方 に向けた意識啓発に努めます。	「労政の手引」の HPでの更新回数 (回)	1	(目標)	1	(予算)	0	B	平成29年3月に働き方改革実行計画が決定される など、働き方に対する見直しが進んでいる。今後 も、制度改正の状況を注視しながら、継続して、 WEBでの情報発信が望まれる。		産業振興課	
						(実績)	1	(決算)	0					
(3)子どもと子育て家庭にやさしい生活環境づくりの推進														
①安心して外出できる 環境づくりの推進	112	通学路整備事業	児童・生徒が安全で安心して通園・通学できるよう歩道 の整備及び防護柵、路面標示等の安全施設を整備しま す。	箇所数(箇所)	60	(目標)	61	(予算)	87,900	A	通学路の緊急合同点検に基づく、要対策箇所の 残り13か所については、今年度より継続的に着手 しております。 また、奈良市通学路交通安全プログラムに基づく、 C・Dブロックの小学校区の合同点検により確認し た、平成29年度の要対策箇所39か所の対策につ いても随時実施する。	(委員からの意見等を記入)	道路建設課	
						(実績)	59	(決算)	52,314					
	113	公園管理運営	身近な自然とのふれあいの場所、防災空間、良好な風 致・景観を備えた地域の形成等、多くの機能を有してい る公園・緑地の維持管理を行います。また、街区公園等 に設置されている遊具の安全点検を行い、老朽化した 遊具の修繕を行います。	管理する公園な どの数(箇所)	688	(目標)	688	(予算)	180,210	B	年々管理する公園数が増加することから、維持管 理するために必要な財源を確保する必要がある。 日ごろからの安全点検で遊具の事故が発生しない 安全な公園施設を目指して、地域住民とともに安 全意識の向上に努める。		公園緑地課	
						(実績)	708	(決算)	176,287					
	114	公園整備事業	都市公園の経年劣化による遊具等の公園施設の施設 の改修を行います。	公園施設長寿命 化計画に基づき 危険度判定C,D の施設について 更新した遊具数	3	(目標)	8	(予算)	40,134	B	長寿命化計画に基づき危険度判定C,Dの公園施 設について順次改修を行っていく。		公園緑地課	
						(実績)	0	(決算)	0					
	115	公共賃貸住宅における多 子世帯向けの優先入居制 度の活用	市営住宅の3DK若しくは3LDKの空家募集において、 18歳未満の児童が3人以上いる世帯(多子世帯)に対 する優先入居制度を実施します。	多子世帯向け住 宅の新規募集件 数(件)	1	(目標)	—	(予算)	—	B	今後も現行の取り組み方針を継続する。		住宅課	
						(実績)	1	(決算)	—					
	116	公共賃貸住宅における子 育て世帯向けの優先入居 制度の活用	市営住宅の空家募集において、同居親族に小学校就 学前の児童がいる世帯(子育て世帯)に対する優先入 居制度を実施します。	子育て世帯向け 住宅の新規募集 件数(件)	22	(目標)	12	(予算)	15,600	B	12件中3件については、当該募集月では応募がな く、次回以降の募集等で入居した。 今後は、子育て世帯の需要をより見極め、募集住 宅を選定する。		住宅課	
						(実績)	12	(決算)	15,015					

奈良市子ども・子育て会議では、平成25年5月から奈良市子ども・子育て支援事業計画「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の審議を進め、平成27年3月までに9回の全体会議と10回の事業計画策定部会を開催し「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」を策定しました。

このプランは平成27年度から平成31年度までの5か年を計画期間としており、また、計画の中間年を目安に計画の見直しを行うこととしています。

【 計画期間 】



〔 見直しの範囲 〕

見直し対象	奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン
	第1章 事業計画の策定にあたって
	第2章 奈良市の子ども・子育てを取り巻く状況と課題
	第3章 事業計画の基本的な理念・方針
	第4章 奈良市の子ども・子育て支援のこれからの取組
★	第5章 主な事業の5年間の需給計画
	第6章 事業計画の推進体制
★	資料編(資料4 進捗管理事業一覧)

1 事業計画見直しのためのニーズ把握について

本プランの中間年度である平成29年度には、アンケート調査とヒアリング調査によりニーズを再確認し、事業計画を見直すこととします。

【1. アンケート調査】

1 〔 調査の対象者及び対象者数 〕

	今回の調査(案) (平成29年度実施)	【参考】計画策定時の調査 (平成25年度実施)
対象者	① 就学前児童の保護者(0～2歳) ② 就学前児童の保護者(3～5歳) ③ 小学生児童の保護者	① 就学前児童の保護者(0～2歳) ② 就学前児童の保護者(3～5歳) ③ 小学生児童の保護者
配布数	① 1,000件 ② 1,000件 ③ 2,000件	① 1,500件(回答数 908件) ② 1,500件(回答数 815件) ③ 2,000件(回答数1,151件)
設問数	① 27問 ②32問 ③ 30問	① 31問 ② 36問 ③ 34問

2 調査項目検討の前提

調査項目の検討にあたり、事務局の意向は以下のとおり。

- (1) 前回調査結果との比較が行えるよう、前回実施したアンケート調査の項目を基本とする。
- (2) 回答者に回答しやすい工夫をすることで、回答にかかる負担を減らす。
- (3) この結果を基に、事業計画の目標値を修正し必要に応じて計画を見直す。

3 調査方法

- (1)就学前の児童の保護者…郵送による(無作為抽出)
- (2)小学生…学校を通じて配布し、郵送により回収

4 スケジュール

平成29年6月21日(水)	第18回奈良市子ども・子育て会議で審議
平成29年6月23日(金)	メール等で意見受付
平成29年7月3日(月)	アンケート調査内容の確定
平成29年7月上旬	アンケート調査票印刷・配布準備
平成29年7月下旬	アンケート調査配布
平成29年8月中旬	アンケート調査回答締切
平成29年9月	アンケート調査報告書(速報値)完成

【2. ヒアリング調査】

1 [調査の対象者及び対象者数]

施設利用者の声を直接聞き取れるよう、アンケート調査に加え対面聞き取りによる調査を行う。

	今回の調査(案) (平成29年度実施)
実施施設	地域子育て支援センター・つどいの広場 市内5地域(中央・西部北・西部南・南部・東部)各1施設
対象者	施設利用者 ※0～3歳児の保護者
調査数	合計100サンプル(各施設約20件)
設問数	およそ5問程度 自由意見を基本とする

※子育て世代が多く集まり、市の子育て施策について聞き取る時間がとれる施設を選定
※市内全域にある施設を選定

2 調査目的・内容

子育て中の市民の声を直接聞き取ることで、市民のニーズを調査し、子育て支援事業の改善につなげる。

3 調査方法

- (1)5地域からそれぞれ1カ所 計100サンプルを回収
- (2)調査票を作成し、利用者に委託業者と職員が対面で聞き取り

4 スケジュール

平成29年6月21日(水)	第18回奈良市子ども・子育て会議で審議
平成29年6月23日(金)	メール等で意見受付
平成29年7月3日(月)	ヒアリング調査内容の確定
平成29年7月上旬	ヒアリング調査票印刷
平成29年8月	ヒアリング調査
平成29年9月	ヒアリング調査報告書(速報値)完成

アンケート調査実施スケジュールについて

	アンケート調査等	奈良市子ども・子育て会議
H29 4 月		奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン平成28年度分 進捗状況の照会
5 月		
6 月	◆アンケート調査業者選定 ◆調査票作成・調査実施	① ・プラン平成28年度分検証 ・調査票（案）について
7 月		
8 月	◆調査票集計・分析期間	
9 月		
10 月		② ・プランの平成28年度分検証結果 ・調査集計・分析中間報告
11 月		
12 月		
H30 1 月		③ ・プランの見直し案の作成
2 月		
3 月		⑤ ・プランの見直し案の確定



【0歳～2歳のお子さんをもつ 保護者用】

調査票（案）

ご記入にあたってのお願い

- ・ アンケートは封筒のあて名のお子さんのことについて、保護者の方がご記入ください。
- ・ 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただくものと、数字などをご記入いただくものがあります。
- ・ 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きや矢印に従ってお進みください。
- ・ アンケートに記載されている事業やサービスの名称や内容が分からない場合は、この文書の裏面に記載している説明書きをご参照ください。
- ・ 封筒、アンケートともに、お名前は記入しないでください。
- ・ ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、 まで
に、郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。



<アンケートに関するお問い合わせ先>

奈良市 子ども未来部 子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792 FAX：0742-34-4798



事業や用語の説明

0歳～2歳のお子さんを持つ保護者の皆さんに向けたアンケート

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの中学校区はどこですか(1つに○) 中学校区がわからない場合は、お住まいの町名・番地を回答欄の最後にある()内にご記入ください。

1. 春日	2. 三笠	3. 若草	4. 伏見	5. 富雄
6. 都南	7. 田原	8. 興東館柳生	9. 登美ヶ丘	10. 平城西
11. 二名	12. 京西	13. 富雄南	14. 平城	15. 飛鳥
16. 登美ヶ丘北	17. 都跡	18. 平城東	19. 月ヶ瀬	20. 都祁
21. 富雄第三				
※中学校区がわからない場合…() (町) (番地)				

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月日をお答えください。

平成()年()月生まれ

問3 あて名のお子さんを含めて、ご家族にお子さんは何人いますか。お2人以上のお子さんがある場合は、一番年下のお子さんの生年月日をお答えください。

お子さんの数()人	一番年下のお子さんの生年月日 平成()年()月生まれ
------------	------------------------------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。

1. 母親	2. 父親	3. その他()
-------	-------	-----------

問5 あて名のお子さんと同居されている親族等(きょうだい以外)をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※父親または母親が単身赴任等の仕事の都合で別居している場合は、同居しているものとしてお答えください。

1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. その他の親族等
-------	-------	-------	-------	------------

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他()
----------	---------	---------	----------	-----------

問7-1 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7-2 問7-1で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。*

1. 安心して子どもをみてもらえる
2. 身体的負担が大きく心配である
3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 保護者の就労状況

宛名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

(①～⑤の項目ごとに1つに○)

※母子父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

項目		父親	母親
①年齢(平成29年4月1日時点)		1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50歳以上	1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50歳以上
②就労の有無		1. 就労している(育児休暇含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない	1. 就労している(育児休暇含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない
就 労 し て い る 場 合	③就労形態	1. フルタイム (①育休中 ②育休中でない) 2. パート・アルバイト(①育休中 ②育休中でない) 3. 自営業 4. その他()	1. フルタイム (①育休中 ②育休中でない) 2. パート・アルバイト(①育休中 ②育休中でない) 3. 自営業 4. その他()
	④1週間の就労日数と1日当たりの就労時間(残業時間を含む)(もっとも多いパターン)	就労日数 1週当たり()日 就労時間 1日あたり()時間	就労日数 1週当たり()日 就労時間 1日あたり()時間
	⑤家を出る時間と帰宅時間	1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時	1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時
	⑥ ③で2パート・アルバイトで就労しているに○を付けた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい
就 労 し て い な い 場 合	⑦就労したい希望はありますか	1. 子育てや家事に専念したい 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(希望の就労形態) (1. フルタイム 2. パート・アルバイト) 4. 就労したいが仕事がない 5. 就労したいが子どもの預け先がないためできない	1. 子育てや家事に専念したい 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(希望の就労形態) (1. フルタイム 2. パート・アルバイト) 4. 就労したいが仕事がない 5. 就労したいが子どもの預け先がないためできない

※フルタイム…1週あたり5日程度、1日あたり8時間程度の就労

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問9－1に示した事業が含まれます。

問9 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。

また、現在利用しているしていないにかかわらず、どこで利用したいですか。それぞれ1つに○をつけてください。

利用の有無	現在	今後の希望
1.奈良市内で利用		
2.他市町村で利用 ⇒現在の利用(市・町)		
3.利用したいができない		
4.利用する必要がない		

問9－1 あて名のお子さんは、現在平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。また、現在利用しているしていないにかかわらず、利用したいものはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

年間を通じて「定期的に」利用する事業についてお答えください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。例えば認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

事業	現在	今後の希望
1. 幼稚園(通常就園時間の利用)		
2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)		
3. 認可保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)		
4. 認定こども園(幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設)		
5. 小規模な保育施設(市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)		
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)		
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)		
8. その他の認可外の保育施設		
9. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業、ベビーシッター)		
10. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)		
11. その他()・		

問9－2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1)現在	1週当たり()日
	1日当たり()時間(()時～()時) **
(2)希望(現在の利用時間と同じ場合でもご記入ください)	1週当たり()日
	1日当たり()時間(()時～()時) **

問9－3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についてうかがいます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため	
2. 子育て(教育を含む)をしている方が	① 現在就労している ② 就労予定/求職中である ③ 家族・親族等の介護をしている ④ 病気や障害がある

⑤ 学生である
3. その他()

問9-4 現在、利用している施設へ通園するための主な手段についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 徒歩	2. 自転車	3. 自家用車	4. 通園バス	5. 路線バス	6. 電車	7. その他()
通園時間		片道おおよそ()分				

問9-5 ①利用している施設を選んだ理由及び②今後新たに幼稚園や保育園等を選ぶことを想定した場合、重視することは何かについてうかがいます。当てはまる番号をそれぞれ3つまで選んで○をつけてください。

(現在2ヶ所以上の施設を利用している方は、主に利用されている施設についてお答えください。)

利用している施設を選んだ理由／今後選ぶ際に重視すること	①現在利用している施設を選んだ理由	②今後選ぶときに重視すること
1. 通園距離や立地条件が適しているから(自宅・職場に近い、通勤経路にある等)		
2. 教育方針や保育方針の内容がよいから		
3. 保育に伴うサービスがよいから(預かり時間・バス送迎・課外教室等)		
4. 施設・設備が整っているから(園舎が新しい、園庭が広い、遊具が充実している等)		
5. 園内で調理する手作りの給食が提供されるから		
6. 保育料・その他経費の負担が少ないから		
7. きょうだいや知人の子どもが通っている(通っていた)から		
8. 近所や知人の評判がよいから		
9. 公立だから		
10. 私立だから		
11. 希望の幼稚園、認可保育園に入れなかったから		
12. 認可された幼稚園・保育園であること		
13. その他・	()	()

問9-6 問9で「3. 利用したいが利用できない」または「4. 利用する必要がない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。・

1. ほかにも子どもを見る人がいる	①祖父母や親せき	②父母の友人や知人
2. 利用したいが利用できない	①空きがない	
	②経済的な理由・	
	③延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	
	④事業の質や場所など、納得できる事業がない	
3. 子どもがまだ小さいため	()歳になったら利用しようと考えている	
4. 利用対象になると知らなかった		
5. その他()		

問10 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	利用したい時間帯()時から ()時まで・
3. 月に1～2回は利用したい	

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	利用したい時間帯()時から ()時まで・
3. 月に1～2回は利用したい	

1. 月に数回仕事が入るため	4. 息抜きのため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	5. その他()・
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問11 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方(問9の現在の欄で「1.」または「2.」に○をつけた方)にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

問11-1 その際の対応として当てはまる番号全てに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 休みを取った。⇒ | ①父親がとった () 日 |
| | ②母親がとった () 日 |
| 2. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった | () 日 |
| 3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた | () 日 |
| 4. 病児・病後児の保育を利用した | () 日 |
| 5. ベビーシッターを利用した | () 日 |
| 6. ファミリー・サポート・センターを利用した | () 日 |
| 7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | () 日 |
| 8. その他() | () 日 |

問11-2 問11-1で 1. 休みを取った。と答えた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. できれば利用したかった ⇒()日 | 2. 利用したいとは思わなかった |
|----------------------|------------------|

問11-3 問11-2で 1. できれば利用したかった に○をした方

上記の目的であて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 幼稚園や保育園等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業 |
| 2. 小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業 |
| 3. 奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業 |
| 4. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) |
| 5. その他() |

問11-4 問11-2で 2. 利用したいとは思わなかった に○をした方

そう思う理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。*

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 5. 利用料がかかる・高い |
| 2. 質に不安がある | 6. 利用料がわからない |
| 3. 立地がよい | 7. 親が仕事を休んで対応する |
| 4. 利用可能時間・日数がよい | 8. その他() |

問11-5 問11-1で2～8に○をした方

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、「3.」～「9.」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数についても数字でご記入ください。

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看護したい ⇒()日 | |
| 2. 休んで看護することは非常に難しい ⇒理由に○をつけてください。 | |
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 3. 休暇日数が足りないで休めない |
| 2. 自営業なので休めない | 4. その他() |

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問12 奈良市では、地域の子育て支援のために次のような事業を行っていますが、知っているものすべてに○をつけてください。

1. 地域子育て支援センター（公共施設や保育園等で、子育て情報の提供や子育て相談を実施）
2. つどいの広場（親子どうしの交流や、子育てに関するアドバイスの場を提供）
3. 福祉センターの子育て広場（子育てスポットすくすく広場）
4. 児童館の子育て広場
5. 子育てスポット（幼稚園等の一室で、親子どうしの交流や子育てに関するアドバイスの場を提供）
6. ひとつも知らない *

問13 あて名のお子さんは、現在、「地域子育て支援センター」、「つどいの広場」、「子育てスポット」を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

- | | | | |
|-----------------|-----------|------|----------------|
| 1. 地域子育て支援センター | 1週当たり（ ）回 | もしくは | 1ヶ月当たり（ ）回程度 * |
| 2. つどいの広場 | 1週当たり（ ）回 | もしくは | 1ヶ月当たり（ ）回程度 * |
| 3. 福祉センターの子育て広場 | 1週当たり（ ）回 | もしくは | 1ヶ月当たり（ ）回程度 * |
| 4. 児童館の子育て広場 | 1週当たり（ ）回 | もしくは | 1ヶ月当たり（ ）回程度 * |
| 5. 子育てスポット | 1週当たり（ ）回 | もしくは | 1ヶ月当たり（ ）回程度 * |
| 6. 利用していない | | | |

問13-1 6. 「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 知らなかった | 4. 利用する必要がない |
| 2. 近くにないため、利用できない | 5. その他（ ） |
| 3. 休日に開館していないため、利用できない | |

問14 問12のような地域の子育て支援のための事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 利用していないが、今後利用したい | 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度 * |
| 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい | 1週当たり 更に（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり 更に（ ）回程度 * |
| 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない * | |

問15 奈良市では、下記の事業や取り組みを行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①妊婦健康診査	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②はじめてのパパママ教室	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③こんにちは赤ちゃん訪問	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④はぐくみセンターの教室（離乳食教室やむし歯予防教室等）	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤保育園の園庭開放や子育て相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥幼稚園の園庭開放や子育て相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑦こども園の子育て支援や子育て相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

⑧子ども発達センターの療育相談	2. はい	3. いいえ	2. はい	3. いいえ	2. はい	3. いいえ
⑨子育ての総合相談窓口 (家庭児童相談室)	3. はい	4. いいえ	3. はい	4. いいえ	3. はい	4. いいえ
⑩ファミリー・サポート・センター	4. はい	5. いいえ	4. はい	5. いいえ	4. はい	5. いいえ
⑪キッズホリデークラブ(教育センター)	5. はい	6. いいえ	5. はい	6. いいえ	5. はい	6. いいえ
⑫子育て@なら(子育て応援ホームページ)	6. はい	7. いいえ	6. はい	7. いいえ	6. はい	7. いいえ
⑬こども園・幼稚園・保育園のホームページ	7. はい	8. いいえ	7. はい	8. いいえ	7. はい	8. いいえ

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
うかがいます。

問16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数【年間】
1.一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)・	()日
2.ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	()日
3.夜間養護等事業:トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	()日
4.ベビーシッター	()日
5.地域子育て支援センター・つどいの広場における一時預かり	()日
6.その他()	()日
7.利用していない	

問16-1 問16で7.利用していないに○をつけた方。その理由に当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がかかる・高い
2. 利用したいサービスが地域にない	7. 利用料がわからない
3. 質に不安がある	8. 自分が利用できるかどうかわからない
4. 立地がよいくない	9. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
5. 利用可能時間・日数がよくない	10. その他()

問17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問16のような事業を希望としては年間何日くらい
利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

(目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。) なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	2. 利用する必要がない
----------	--------------

問17-1 利用したいとお答えの方のみ

利用したい場合の目的	年間日数
1. 私用(買物)、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的	()日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	()日
3. 不定期の就労	()日
4. その他()	()日
利用したい場合の事業形態	
1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育園等)	
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域の子育て支援拠点等)	
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	
4. その他()	

問18 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

1年間の対応		
1.あった	1 (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	()泊
	2 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	()泊
	(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)・	()泊
	3 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	()泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	()泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
	6 その他()	()泊
2.なかった		

問18ー 問18で 1.あった1(同居者を含む)親族・知人にみてもらった に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に難しかった	2. どちらかというと難しかった	3. 特に難しくなかった
-------------	------------------	--------------

全ての方に、育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度についてうかがいます。

問19 あて名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない 理由番号()	3. 取得していない 理由番号()

【理由】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
2. 仕事が忙しかった	10. 子育てや家事に専念するため退職した
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
7. 保育園などに預けることができた	15. その他()
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	

問19-1 問19で「2.取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください・

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である	3. 育児休業中に退職した
--------------------	----------------	---------------

問19-1で1「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

問19-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問19-3 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

実際の復帰()歳()ヶ月のとき	希望()歳()ヶ月まで
-------------------	---------------

問19-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

希望としては()歳()ヶ月まで

問19-5 実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。・

(1)「希望」より早く復帰した方(当てはまる番号すべてに○)

1. 希望する保育園に入るため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
2. 配偶者や家族の希望があったため	5. 職場の制度の都合のため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	6. その他()

(2)「希望」より遅く復帰した方(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育園に入れなかったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 6. その他()・ |

問19-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※短時間勤務制度とは、小学校就学に入学するまでの子どもを養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができる制度です。・

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)・ |

問19-7 問19-6で3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。・

- | |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 6. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他()・ |

問19-8 問19-6で2.現在も育児休業中である に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。・

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

すべての方に、子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問20 奈良市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度を5段階評価してください。 5 (高い) 4 3 2 1 (低い)

問21 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族(親、きょうだいなど) 2. 隣近所の人、知人、友人 3. 学校 4. 市役所や市の機関
5. 市の広報やパンフレット 6. テレビ、ラジオ、新聞 7. 子育て雑誌・育児書 8. インターネット
9. コミュニティ誌 10. その他() 11. 情報の入手先がない 12. 情報の入手手段がわからない *

問22 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること 2. 食事や栄養に関すること 3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいらないこと 7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること 9. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
10. 不登校などの問題について 11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. その他() 19. 特にない *

問22 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー 2. その他の親族(親・きょうだいなど) 3. 隣近所の人、地域の知人、友人 4. 職場の人
5. 学校の保護者の仲間 6. 子育てサポーター 7. 学校の先生 8. 医師・保健師・看護師・栄養士など
9. 家庭児童相談室(子育て相談課) 10. 地域子育て支援拠点(ひろばやセンター等)のスタッフやボランティアの人
11. 母子相談員 12. 民生・児童委員、主任児童委員 13. 教育センター(教育相談窓口)
14. はぐくみセンター(保健所)や保健センター 15. 中央こども家庭相談センター(児童相談所)
16. 民間の電話相談 17. インターネットを利用したコミュニケーション
18. 相談相手がいらない 19. その他() 20. 相談すべきことがない

問23 妊娠中や出産後3か月以内に家事・育児に関して困ったことはありましたか。当てはまる番号に(3つまで)○をつけてください。

1. 上の子どもの世話 2. 家事 3. 出産の際の病院等への移動手段 4. 検診時の病院等への移動手段
5. 子どもの病気 6. 経済的負担 7. 家族の協力が得られないこと 8. その他()

問24 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか(解決につながった、など)についてご自由にご記入ください。

(希望するサポート)

(実際に受けたサポートと、良かったこと、受けてどうなったか)

すべての方に、子どもにやさしいまちについて質問します

問25 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問25-1 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもに関する施策について、適切な情報提供がされ、子供が意見表明や参加する機会がある。 |
| 2. 安心して子育てできる環境がある |
| 3. 困難を有する子どもと家庭に対し必要な支援がある |
| 4. 有害及び危険な環境から守るための安全な環境がある |
| 5. 子どもが安心して過ごすことのできる居場所や遊び場がある |
| 6. 子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある |

問26 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問26-1 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| 1. 経済的支援が充実している | 5. 子どもにとって安全な環境がある |
| 2. 子どもや子育てに関する相談窓口が充実している | 6. 近隣にショッピングができる環境がある |
| 3. 教育・保育に関する環境が充実している | 7. 職場が近く、ワークライフバランスが保たれている環境がある |
| 4. 子育て住宅が整備されている | 8. 公共交通機関が整備されている |
| 5. 親子で外出する環境が整備されている | 9. その他 |

すべての方にうかがいます。

問27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。



【3歳～小学校入学前のお子さんをもつ保護者用】

調査票（案）

ご記入にあたってのお願い

- ・ アンケートは封筒のあて名のお子さんのことについて、保護者の方がご記入ください。
- ・ 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただくものと、数字などをご記入いただくものとがあります。
- ・ 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きや矢印に従ってお進みください。
- ・ アンケートに記載されている事業やサービスの名称や内容が分からない場合は、この文書の裏面に記載している説明書きをご参照ください。
- ・ 封筒、アンケートともに、お名前は記入しないでください。
- ・ ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、_____ までに、郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。



<アンケートに関するお問い合わせ先>

奈良市 子ども未来部 子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792 FAX：0742-34-4798



事業や用語の説明

奈良市のホームページ「子育てあっとなら」では、上記の取り組みのほかにも奈良市での子育てに必須の情報を掲載しています。

URL <http://www.naracity-kosodate.jp/>

子育てあっとなら 検索



3歳～小学校入学前のお子さんを持つ保護者の皆さんに向けたアンケート

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの中学校区はどこですか(1つに○) 中学校区がわからない場合は、お住まいの町名・番地を回答欄の最後にある()内にご記入ください。

1. 春日	2. 三笠	3. 若草	4. 伏見	5. 富雄
6. 都南	7. 田原	8. 興東館柳生	9. 登美ヶ丘	10. 平城西
11. 二名	12. 京西	13. 富雄南	14. 平城	15. 飛鳥
16. 登美ヶ丘北	17. 都跡	18. 平城東	19. 月ヶ瀬	20. 都祁
21. 富雄第三				
※中学校区がわからない場合…() (町) (番地)				

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月日をお答えください。

平成()年()月生まれ

問3 あて名のお子さんを含めて、ご家族にお子さんは何人いますか。お2人以上のお子さんがある場合は、一番年下のお子さんの生年月日をお答えください。

お子さんの数()人	一番年下のお子さんの生年月日	平成()年()月生まれ
------------	----------------	---------------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。

1. 母親	2. 父親	3. その他()
-------	-------	-----------

問5 あて名のお子さんと同居されている親族等(きょうだい以外)をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※父親または母親が単身赴任等の仕事の都合で別居している場合は、同居しているものとしてお答えください。

1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. その他の親族等
-------	-------	-------	-------	------------

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他()
----------	---------	---------	----------	-----------

問7-1 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7-2 問7-1で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。・

1. 安心して子どもをみてもらえる
2. 身体的負担が大きく心配である
3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 保護者の就労状況

宛名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

(各項目に1つ○;()には当てはまる番号を記入してください。)

※母子父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんを見ていらっしゃる方についてお答えください。

項目		父親	母親
①年齢(平成29年4月1日時点)		1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50歳以上	1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50歳以上
②就労の有無		1. 就労している(育児休暇含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない	1. 就労している(育児休暇含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない
就 労 し て い る 場 合	③就労形態	1. フルタイム (①育休中 ②育休中でない) 2. パート・アルバイト(①育休中 ②育休中でない) 3. 自営業 4. その他()	1. フルタイム (①育休中 ②育休中でない) 2. パート・アルバイト(①育休中 ②育休中でない) 3. 自営業 4. その他()
	④1週間の就労日数と1日当たりの就労時間(残業時間を含む)(もっとも多いパターン)	就労日数 1週当たり()日 就労時間 1日あたり()時間	就労日数 1週当たり()日 就労時間 1日あたり()時間
	⑤家を出る時間と帰宅時間	1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時	1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時
	⑥ ③で2パート・アルバイトで就労しているに○を付けた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい
就 労 し て い な い 場 合	⑦就労したい希望はありますか	1. 子育てや家事に専念したい 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(希望の就労形態) (1. フルタイム 2. パート・アルバイト) 4. 就労したいが仕事がない 5. 就労したいが子どもの預け先がないためできない	1. 子育てや家事に専念したい 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(希望の就労形態) (1. フルタイム 2. パート・アルバイト) 4. 就労したいが仕事がない 5. 就労したいが子どもの預け先がないためできない

※フルタイム…1週あたり5日程度、1日あたり8時間程度の就労

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問9-1に示した事業が含まれます。

- 問9 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。
また、現在利用しているしていないにかかわらず、どこで利用したいですか。それぞれ1つに○をつけてください。

利用の有無	現在	今後の希望
1.奈良市内で利用		
2.他市町村で利用 ⇒現在の利用(市・町)		
3.利用したいができない		
4.利用する必要がある		

- 問9-1 あて名のお子さんは、現在平日どのような教育・保育の事業を現在利用していますか。また、現在利用しているしていないにかかわらず、利用したいものはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

年間を通じて「定期的に」利用する事業についてお答えください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。例えば認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

事業	現在	今後の希望
1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)		
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)		
3. 認可保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)		
4. 認定こども園(幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設)		
5. 小規模な保育施設(市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)		
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)		
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)		
8. その他の認可外の保育施設		
9. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業、ベビーシッター)		
10. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)		
11. その他()・		

- 問9-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1)現在	1週当たり()日
	1日当たり()時間(()時～()時) **
(2)希望(現在の利用時間と同じ場合でもご記入ください)	1週当たり()日
	1日当たり()時間(()時～()時) **

- 問9-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についてうかがいます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため	
2. 子育て(教育を含む)をしている方が	① 現在就労している
	② 就労予定/求職中である
	③ 家族・親族等の介護をしている

④ 病気や障害がある ⑤ 学生である 3. その他()

問9-4 現在、利用している施設へ通園するための主な手段についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 徒歩	2. 自転車	3. 自家用車	4. 通園バス	5. 路線バス	6. 電車	7. その他()
通園時間 片道おおよそ()分						

問9-5 ①利用している施設を選んだ理由及び②今後新たに幼稚園や保育園等を選ぶことを想定した場合、重視することはいかに
ついてうかがいます。当てはまる番号をそれぞれ3つまで選んで○をつけてください。

(現在2ヶ所以上の施設を利用している方は、主に利用されている施設についてお答えください。)

利用している施設を選んだ理由／今後選ぶ際に重視すること	①現在利用している施設を選んだ理由	②今後選ぶときに重視すること
1. 通園距離や立地条件が適しているから(自宅・職場に近い、通勤経路にある等)		
2. 教育方針や保育方針の内容がよいから		
3. 保育に伴うサービスがよいから(預かり時間・バス送迎・課外教室等)		
4. 施設・設備が整っているから(園舎が新しい、園庭が広い、遊具が充実している等)		
5. 園内で調理する手作りの給食が提供されるから		
6. 保育料・その他経費の負担が少ないから		
7. きょうだいや知人の子どもが通っている(通っていた)から		
8. 近所や知人の評判がよいから		
9. 公立だから		
10. 私立だから		
11. 希望の幼稚園、認可保育園に入れなかったから		
12. 認可された幼稚園・保育園であること		
13. その他・	()	()

問9-6 問9で「3. 利用したいが利用できない」または「4. 利用する必要がない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。・

1. ほかに子どもを見る人がいる	① 祖父母や親せき	② 父母の友人や知人
2. 利用したいが利用できない	① 空気がない	
	② 経済的な理由・	
	③ 延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	
	④ 事業の質や場所など、納得できる事業がない	
3. 子どもがまだ小さいため	()歳になったら利用しようと考えている	
4. 利用対象になると知らなかった		
5. その他		

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問10 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日（当てはまる番号1つに○）

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	利用したい時間帯（ ）時から（ ）時まで
3. 月に1～2回は利用したい	

（2）日曜・祝日（当てはまる番号1つに○）

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	利用したい時間帯（ ）時から（ ）時まで
3. 月に1～2回は利用したい	

問10-1 （1）または（2）で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。・

1. 月に数回仕事が入るため	4. 息抜きのため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	5. その他
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	

問11～11-3までは「幼稚園」を利用している方にうかがいます。

問11 幼稚園の預かり保育を定期的に利用していますか

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

問11-1 問11で1. 利用していると回答した方はその理由をお答えください。

1. 就労しているため	6. 親族や知人に負担をかけたくないため
2. 学生であるため	7. 保育園に空きがなかったため
3. 介護等をしているため	8. 保育園ではなく、幼稚園に通わせたいため
4. 病気や障がいがあるため	9. 保育園よりも利用料が安い
5. 自分の時間をつくりたいため	10. 送迎バスがあるため
	11. その他（ ）

問11-2 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の預かり保育の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、預かり保育の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	利用したい時間帯（ ）時から（ ）時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

問11-3 問11で2. 利用していないとお答えの方はお答えください。当てはまるものに○をしてください。

- 現在利用していないが、通っている幼稚園で預かり保育があれば利用したい
- 現在は別の教育・保育事業を利用しており、通っている幼稚園で預かり保育があれば利用したい
- 今後も利用しない

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

- 問12 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方(問9の現在欄で「1.」または「2.」に○をつけた方)にうかがいます。
この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった	2. なかった
--------	---------

- 問12-1 その際の対応として当てはまる番号全てに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。
(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

1. 休みを取った。⇒	①父親がとった () 日
	②母親がとった () 日
2. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
4. 病児・病後児の保育を利用した	() 日
5. ベビーシッターを利用した	() 日
6. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
8. その他()	() 日

- 問12-2 問12-1で1. 休みを取った。と答えた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば利用したかった ⇒()日	2. 利用したいとは思わなかった
----------------------	------------------

- 問12-3 問12-2で1. できれば利用したかった に○をした方

上記の目的であて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園や保育園等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業
2. 小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業
3. 奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業
4. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
5. その他()

- 問12-4 問12-2で2. 利用したいとは思わなかった に○をした方

そう思う理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。・

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	5. 利用料がかかる・高い
2. 質に不安がある	6. 利用料がわからない
3. 立地がよくない	7. 親が仕事を休んで対応する
4. 利用可能時間・日数がよくない	8. その他()

- 問12-5 問12-1で2～8に○をした方

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、「3.」～「9.」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看護したい ⇒()日	
2. 休んで看護することは非常に難しい ⇒理由に○をつけてください。	
1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	3. 休暇日数が足りないので休めない
2. 自営業なので休めない	4. その他()

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問13 奈良市では、地域の子育て支援のために次のような事業を行っていますが、知っているものすべてに○をつけてください。

1. 地域子育て支援センター(公共施設や保育園等で、子育て情報の提供や子育て相談を実施)
2. つどいの広場(親子どうしの交流や、子育てに関するアドバイスの場を提供)
3. 福祉センターの子育て広場(子育てスポットすくすく広場)
4. 児童館の子育て広場
5. 子育てスポット(幼稚園等の一室で、親子どうしの交流や子育てに関するアドバイスの場を提供)
6. ひとつも知らない *

問14 あて名のお子さんは、現在、「地域子育て支援センター」、「つどいの広場」、「子育てスポット」を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

- | | | | |
|-----------------|-----------|------|----------------|
| 1. 地域子育て支援センター | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 2. つどいの広場 | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 3. 福祉センターの子育て広場 | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 4. 児童館の子育て広場 | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 5. 子育てスポット | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 6. 利用していない | | | |

問14-1 6. 「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 知らなかった | 4. 利用する必要がない |
| 2. ちかくないため、利用できない | 5. その他() |
| 3. 休日に開館していないため、利用できない | |

問15 問13のような地域の子育て支援のための事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい	1週当たり ()回 もしくは 1ヶ月当たり ()回程度 *
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	1週当たり 更に()回 もしくは 1ヶ月当たり 更に()回程度 *
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない *	

問16 奈良市では、下記の事業や取り組みを行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①妊婦健康診査	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②はじめてのパパママ教室	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③こんにちは赤ちゃん訪問	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④はぐくみセンターの教室 (離乳食教室やむし歯予防教室等)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤保育園の園庭開放や子育て相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥幼稚園の園庭開放や子育て相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

⑦こども園の子育て支援や子育て相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑧子ども発達センターの療育相談	2. はい	3. いいえ	2. はい	3. いいえ	2. はい	3. いいえ
⑨子育ての総合相談窓口 (家庭児童相談室)	3. はい	4. いいえ	3. はい	4. いいえ	3. はい	4. いいえ
⑩ファミリー・サポート・センター	4. はい	5. いいえ	4. はい	5. いいえ	4. はい	5. いいえ
⑪キッズホリデークラブ(教育センター)	5. はい	6. いいえ	5. はい	6. いいえ	5. はい	6. いいえ
⑫子育て@なら(子育て応援ホームページ)	6. はい	7. いいえ	6. はい	7. いいえ	6. はい	7. いいえ
⑬こども園・幼稚園・保育園のホームページ	7. はい	8. いいえ	7. はい	8. いいえ	7. はい	8. いいえ

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
うかがいます。

問17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数【年間】
1.一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)・	()日
2.幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ	()日
3.ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	()日
4.夜間養護等事業:トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを 保護する事業)	()日
5.ベビーシッター	()日
6.地域子育て支援センター・つどいの広場における一時預かり	()日
7.その他()	()日
8.利用していない	

問17-1 問17で8.利用していないに○をつけた方。その理由に当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がかかる・高い
2. 利用したいサービスが地域にない	7. 利用料がわからない
3. 質に不安がある	8. 自分が利用できるかどうかわからない
4. 立地がよくない	9. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
5. 利用可能時間・日数がよくない	10. その他()

問18 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問17のような事業を希望としては年間何日くらい
利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、
目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい

2. 利用する必要がない

利用したいとお答えの方のみ

利用したい場合の目的	年間日数
1. 私用(買物)、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的	()日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	()日
3. 不定期の就労	()日
4. その他()	()日
利用したい場合の事業形態	
1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育園等)	
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域の子育て支援拠点等)	
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	
4. その他()	

問19 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

1年間の対応		
1.あった	1 (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	()泊
	2 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)・	()泊
	3 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	()泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	()泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
	6 その他()	()泊
2.なかった		

問19-1 問19で「1. あった 1(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に難しかった	2. どちらかというと難しかった	3. 特に難しくなかった
-------------	------------------	--------------

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問20 全ての方にうかがいます。あて名のお子さんが設問の学年に当てはまらない場合も「希望」としてご記入ください。

あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)の間、又は高学年(4～6年生)の間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。全てに○をつけてください。

また、それぞれ希望する1週間当たりの日数も記入してください。

お子さんが低学年(1～3年)のあいだの希望			お子さんが高学年(4～6年)のあいだの希望		
1. 自宅	週	日	1. 自宅	週	日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日
3. 習いごとや塾	週	日	3. 習いごとや塾	週	日
4. 児童館	週	日	4. 児童館	週	日
5. 放課後子ども教室	週	日	5. 放課後子ども教室	週	日
6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日	6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日
下校時()時まで(24時間制で記入)	日		下校時()時まで(24時間制で記入)		
7. ファミリーサポートセンター	週	日	7. ファミリーサポートセンター	週	日
8. その他(公民館や公園)	週	日	8. その他(公民館や公園)	週	日

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問21 問20でバンビーホームに○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、また夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に

保護者が昼間に家庭にいない場合に、バンビーホームの利用希望はありますか。それぞれ当てはまる番号1つに

○をつけてください。また、利用したい時間帯を()内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

なお、バンビーホームの利用には一定の利用料がかかります。

土曜			日曜・祝日		
1. 低学年の間利用希望	時から	時まで	1. 低学年の間利用希望	時から	時まで
2. 高学年も利用希望	時から	時まで	2. 高学年も利用希望	時から	時まで
3. 利用の必要なし			3. 利用の必要なし		
夏休み・冬休み等長期休暇中					
1. 低学年の間利用希望	時から	時まで			
2. 高学年も利用希望	時から	時まで			
3. 利用の必要なし					

全ての方に、育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度についてうかがいます。

問22 あて名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない 理由番号()	3. 取得していない 理由番号()

【理由】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
2. 仕事が忙しかった	
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	10. 子育てや家事に専念するため退職した
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
7. 保育園などに預けることができた	14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	15. その他()

問22-1 問21で「2.取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください・

1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に退職した

問22-2 問21-1で「1「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問22-3 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

実際の復帰()歳()ヶ月のとき 希望()歳()ヶ月まで

問22-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

希望としては()歳()ヶ月まで

問22-5 実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。・

(1)「希望」より早く復帰した方(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育園に入るため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため | 5. 職場の制度の都合のため ・ |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 6. その他() |

(2)「希望」より遅く復帰した方(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育園に入れなかったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 6. その他() ・ |

問22-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※短時間勤務制度とは、小学校就学に入学するまでの子どもを養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができる制度です。・

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった) ・ |

問22-7 「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。・

- | |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 6. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他() ・ |

すべての方に、子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問23 奈良市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度を5段階評価してください。 5（高い） 4 3 2 1（低い）

問24 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族（親、きょうだいなど） 2. 隣近所の人、知人、友人 3. 学校 4. 市役所や市の機関
5. 市の広報やパンフレット 6. テレビ、ラジオ、新聞 7. 子育て雑誌・育児書 8. インターネット
9. コミュニティー誌 10. その他（ ） 11. 情報の入手先がない 12. 情報の入手手段がわからない *

問25 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること 2. 食事や栄養に関すること 3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいらないこと 7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること 9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 不登校などの問題について 11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. その他（ ） 19. 特になし *

問26 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー 2. その他の親族（親・きょうだいなど） 3. 隣近所の人、地域の知人、友人 4. 職場の人
5. 学校の保護者の仲間 6. 子育てサポーター 7. 学校の先生 8. 医師・保健師・看護師・栄養士など
9. 家庭児童相談室（子育て相談課） 10. 地域子育て支援拠点（ひろばやセンター等）のスタッフやボランティアの人
11. 母子相談員 12. 民生・児童委員、主任児童委員 13. 教育センター（教育相談窓口）
14. はぐみセンター（保健所）や保健センター 15. 中央こども家庭相談センター（児童相談所）
16. 民間の電話相談 17. インターネットを利用したコミュニケーション
18. 相談相手がいらない 19. その他（ ） 20. 相談すべきことがない

問27 妊娠中や出産後3か月以内に家事・育児に関して困ったことはありましたか。当てはまる番号に（3つまで）○をつけてください。

1. 上の子どもの世話 2. 家事 3. 出産の際の病院等への移動手段 4. 検診時の病院等への移動手段
5. 子どもの病気 6. 経済的負担 7. 家族の協力が得られないこと 8. その他（ ）

問28 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか（解決につながった、など）についてご自由にご記入ください。

（希望するサポート）

（実際に受けたサポートと、良かったこと、受けてどうなったか）

すべての方に、子どもにやさしいまちについて質問します

問29 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか

- | | |
|----------|-------------|
| 1. とても思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問29-1 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもに関する施策について、適切な情報提供がされ、子供が意見表明や参加する機会がある。 |
| 2. 安心して子育てできる環境がある |
| 3. 困難を有する子どもと家庭に対し必要な支援がある |
| 4. 有害及び危険な環境から守るための安全な環境がある |
| 5. 子どもが安心して過ごすことのできる居場所や遊び場がある |
| 6. 子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある |

問30 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. とても思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問30-1 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| 1. 経済的支援が充実している | 5. 子どもにとって安全な環境がある |
| 2. 子どもや子育てに関する相談窓口が充実している | 6. 近隣にショッピングができる環境がある |
| 3. 教育・保育に関する環境が充実している | 7. 職場が近く、ワークライフバランスが保たれている環境がある |
| 4. 子育て住宅が整備されている | 8. 公共交通機関が整備されている |
| 5. 親子で外出する環境が整備されている | 9. その他 |

すべての方に、子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。



【小学生の保護者用】

調査票（案）

ご記入にあたってのお願い

- ・ アンケートは封筒のあて名のお子さんのことについて、保護者の方がご記入ください。
- ・ 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただくものと、数字などをご記入いただくものとがあります。
- ・ 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きに従ってお進みください。
- ・ アンケートに記載されている事業やサービスの名称や内容が分からない場合は、この文書の裏面に記載している説明書きをご参照ください。
- ・ 封筒、アンケートともに、お名前は記入しないでください。
- ・ ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、 までに、郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。



<アンケートに関するお問い合わせ先>

奈良市 子ども未来部 子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792 F A X：0742-34-4798



事業や用語の説明

奈良市のホームページ「子育てあっとなら」では、上記の取り組みのほかにも奈良市での子育てに必須の情報を掲載しています。

URL <http://www.naracity-kosodate.jp/>

子育てあっとなら

検索



小学生のお子さんを持つ保護者の皆さんに向けたアンケート

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの中学校区はどこですか(1つに○) 中学校区がわからない場合は、お住まいの町名・番地を回答欄の最後にある()内にご記入ください。

1. 春日	2. 三笠	3. 若草	4. 伏見	5. 富雄
6. 都南	7. 田原	8. 興東館柳生	9. 登美ヶ丘	10. 平城西
11. 二名	12. 京西	13. 富雄南	14. 平城	15. 飛鳥
16. 登美ヶ丘北	17. 都跡	18. 平城東	19. 月ヶ瀬	20. 都祁
21. 富雄第三				
※中学校区がわからない場合…() (町) (番地)				

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月日をお答えください。

平成()年()月生まれ

問3 あて名のお子さんを含めて、ご家族にお子さんは何人いますか。お2人以上のお子さんがある場合は、一番年下のお子さんの生年月日をお答えください。

お子さんの数()人 一番年下のお子さんの生年月日 平成()年()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 あて名のお子さんと同じ居されている親族等(きょうだい以外)をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※父親または母親が単身赴任等の仕事の都合で別居している場合は、同居しているものとしてお答えください。

1. 父親 2. 母親 3. 祖父 4. 祖母 5. その他の親族等

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

問7-1 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7-2 問7-1で「1.」「4.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。*

1. 安心して子どもをみてもらえる
2. 身体的負担が大きく心配である
3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 保護者の就労状況

宛名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

(各項目に1つ○;()には当てはまる番号を記入してください。)

※母子父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんを見ていらっしゃる方についてお答えください。

項目		父親	母親
①年齢(平成29年4月1日時点)		1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50歳以上	1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50歳以上
②就労の有無		1. 就労している(育児休暇含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない	1. 就労している(育児休暇含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない
就 労 し て い る 場 合	③就労形態	1. フルタイム (①育児中 ②育児中でない) 2. パート・アルバイト(①育児中 ②育児中でない) 3. 自営業 4. その他()	1. フルタイム (①育児中 ②育児中でない) 2. パート・アルバイト(①育児中 ②育児中でない) 3. 自営業 4. その他()
	④1週間の就労日数と1日当たりの就労時間(残業時間を含む)(もっとも多いパターン)	就労日数 1週当たり()日 就労時間 1日あたり()時間	就労日数 1週当たり()日 就労時間 1日あたり()時間
	⑤家を出る時間と帰宅時間	1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時	1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時
	⑥ ③で2パート・アルバイトで就労しているに○を付けた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい
就 労 し て い な い 場 合	⑦就労したい希望はありますか	1. 子育てや家事に専念したい 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい(希望の就労形態) (1. フルタイム 2. パート・アルバイト) 4. 就労したいが仕事がない 5. 就労したいが子どもの預け先がないためできない	1. 子育てや家事に専念したい 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい(希望の就労形態) (1. フルタイム 2. パート・アルバイト) 4. 就労したいが仕事がない 5. 就労したいが子どもの預け先がないためできない

※フルタイム…1週あたり5日程度、1日あたり8時間程度の就労

あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問9 平日の放課後のお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとに当てはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ1つ選んで表に番号を記入してください。

14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時以降

1. 学校にいた	6. 友達の家に行った
2. バンビーホームにいた	7. 公園などで友達と遊んでいた
3. 保護者や祖父母などの家族・親族(大人)と過ごした	8. 児童館などの公共施設にいた
4. 家で兄弟姉妹と子どもたちだけで過ごした	9. クラブ活動や地域活動(子ども会・スポーツ活動)
5. 家で一人で過ごした(自分以外に誰もいない状態)	10. 学習塾や習いごとに行っていた
	11. その他()

問10 全ての方にうかがいます。あて名のお子さんが設問の学年に当てはまらない場合も「希望」としてご記入ください。

あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)の間、又は高学年(4～6年生)の間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。全てに○をつけてください。

また、それぞれ希望する1週間当たりの日数も記入してください。

お子さんが低学年(1～3年)のあいだの希望			お子さんが高学年(4～6年)のあいだの希望		
1. 自宅	週	日	1. 自宅	週	日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日
3. 習いごとや塾	週	日	3. 習いごとや塾	週	日
4. 児童館	週	日	4. 児童館	週	日
5. 放課後子ども教室	週	日	5. 放課後子ども教室	週	日
6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日	6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日
下校時()時まで(24時間制で記入)		日	下校時()時まで(24時間制で記入)		日
7. ファミリーサポートセンター	週	日	7. ファミリーサポートセンター	週	日
8. その他(公民館や公園)	週	日	8. その他(公民館や公園)	週	日

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問11 問9でバンビーホームに○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、また夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に

保護者が昼間に家庭にいない場合に、バンビーホームの利用希望はありますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を()内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

なお、バンビーホームの利用には一定の利用料がかかります。

土曜			日曜・祝日		
1. 低学年の間利用希望	時から	時まで	1. 低学年の間利用希望	時から	時まで
2. 高学年も利用希望	時から	時まで	2. 高学年も利用希望	時から	時まで
3. 利用の必要なし			3. 利用の必要なし		
夏休み・冬休み等長期休暇中					
1. 低学年の間利用希望	時から	時まで			
2. 高学年も利用希望	時から	時まで			
3. 利用の必要なし					

問12 各小学校区ごとにバンビーホーム(放課後児童クラブ)と連携して『放課後子ども教室』を実施していますが、その利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は希望の日数を数字で記入してください。

1. 利用したい	⇒	1週当たり	日くらい
2. 今後も利用しない			
3. 対象のサービスが地域であまり実施されていない／実施されているかわからない			

あて名のお子さんのバンビーホーム(放課後児童クラブ)の利用についてうかがいます。

問13 あて名のお子さんについて、現在、バンビーホーム(放課後児童クラブ)を利用していますか。

1. 利用している 2. 利用していない

バンビーホーム(放課後児童クラブ)

地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童に、生活の場を提供するものです。間10の「放課後子ども教室」と連携して実施されている場合があります。

利用している	①利用日数	1週あたり()日くらい ⇒ うち土曜日の利用(1. ある 2. ない)
	②利用している理由	お子さんの身の回りの世話を主にしている方が 1. 現在就労している 4. 病気や障がいがある 2. 就労予定である 5. 学生である 3. 家族・親族の介護の必要がある 6. その他()
利用していない	③利用していない理由	1. 現在就労していないから 2. 就労しているが ⇒ ① 知らなかった ⑥ 習いごとがある ② 近くにない ⑦ 子どもだけで大丈夫だから ③ 空きがない ⑧ ほかの施設に預けている ④ 開所時間が短い ⑨ その他 ⑤ 利用料がかかる ()
	④今後の利用	1. 利用したい ⇒ 1週当たり()日くらい うち土・日の利用希望(あり・なし) 2. 今後も利用しない

あて名のお子さんの居場所についてうかがいます。

問14 家の近くの子どもの遊び場について、目ごろ感じていることはありますか。下の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない	8. 緑などの自然が少ない
2. 雨の日に遊べる場所がない	9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない	10. 遊び場周辺の道路が危険である
4. 遊具などの種類が充実していない	11. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
5. 不衛生である	12. その他()
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする	13. 特に感じることはない
7. 遊具などの設備が古くて危険である	

問15 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。

1. 子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場
2. 子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場
3. 子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場
4. 子ども自身が悩みを相談できる場
5. その他()・

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問16 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、バンビーホーム(放課後児童クラブ)等の預かりサービスが利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

問16-1 その際の対応として当てはまる番号全てに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。
(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 休みを取った。⇒ | ①父親がとった () 日 |
| | ②母親がとった () 日 |
| 2. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった | () 日 |
| 3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた | () 日 |
| 4. 病児・病後児の保育を利用した | () 日 |
| 5. ベビーシッターを利用した | () 日 |
| 6. ファミリー・サポート・センターを利用した | () 日 |
| 7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | () 日 |
| 8. その他() | () 日 |

問16-2 問16-1で1. 休みを取った。と答えた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. できれば利用したかった ⇒() 日 | 2. 利用したいとは思わなかった |
|-----------------------|------------------|

問16-3 問16-2で1. できれば利用したかった に○をした方

上記の目的であて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 幼稚園や保育園等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業 |
| 2. 小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業 |
| 3. 奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業 |
| 4. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) |
| 5. その他() |

問16-4 問16-2で2. 利用したいとは思わなかったに○をした方

そう思う理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。・

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 5. 利用料がかかる・高い |
| 2. 質に不安がある | 6. 利用料がわからない |
| 3. 立地がよくない | 7. 親が仕事を休んで対応する |
| 4. 利用可能時間・日数がよくない | 8. その他() |

問16-5 問16-1で2～8に○をした方

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、「3.」～「9.」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数についても数字でご記入ください。

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看護したい ⇒() 日 | |
| 2. 休んで看護することは非常に難しい ⇒理由に○をつけてください。 | |
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 3. 休暇日数が足りないので休めない |
| 2. 自営業なので休めない | 4. その他() |

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

- 問17 奈良市では、下記の事業や取り組みを行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①教育相談窓口(教育センター)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②特別支援教育の相談(教育センター)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④放課後子ども教室(小学校や公民館等)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤児童館の各種教室	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥ファミリー・サポート・センター	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑦キッズホリデークラブ(教育センター)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑧くろかみやま自然塾	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑨子育て@なら(子育て応援ホームページ)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑩なら子どもサポートネット(不審者情報メール)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

あて名のお子さんの一時預かり等の利用状況についてうかがいます。

- 問18 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数【年間】
1.ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	()日
2.夜間養護等事業:トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	()日
3.ベビーシッター	()日
4.その他()	()日
5.利用していない	—

- 問18-1 問18で5.利用していないに○をつけた方。その理由に当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がかかる・高い
2. 利用したいサービスが地域にない	7. 利用料がわからない
3. 質に不安がある	8. 自分が利用できるかどうかわからない
4. 立地がよくない	9. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
5. 利用可能時間・日数がよくない	10. その他()

- 問19 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問18のような事業を希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	2. 利用する必要がない
----------	--------------

- 問19-1 利用したいとお答えの方のみ

利用したい場合の目的	年間日数
1. 私用(買物)、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的	()日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	()日
3. 不定期の就労	()日
4. その他()	()日

利用したい場合の事業形態
1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育園等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域の子育て支援拠点となるセンターやつどいの広場等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

- 問20 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

1年間の対応		
1.あった	1 (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	()泊
	2 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	()泊
	(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)・	()泊
	3 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	()泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	()泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
2.なかった	6 その他()	()泊

- 問20-1 問20で1. あった 1(同居者を含む)親族・知人にみてもらったに○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に難しかった	2. どちらかというと難しかった	3. 特に難しくなかった
-------------	------------------	--------------

全ての方に、育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度についてうかがいます。

問21 あて名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない 理由番号()	3. 取得していない 理由番号()

【理由】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
2. 仕事が忙しかった	10. 子育てや家事に専念するため退職した
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
7. 保育園などに預けることができた	15. その他()
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	

問21-1 問21で「2.取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください・

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である	3. 育児休業中に退職した
--------------------	----------------	---------------

問21-2 問21-1で「1「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。
※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問21-3 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

実際の復帰()歳()ヶ月のとき	希望()歳()ヶ月まで
-------------------	---------------

問21-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

希望としては()歳()ヶ月まで

問21-5 実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。*

(1)「希望」より早く復帰した方(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育園に入るため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため | 5. 職場の制度の都合のため * |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | 6. その他() |

(2)「希望」より遅く復帰した方(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育園に入れなかったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 6. その他() * |

問21-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※短時間勤務制度とは、小学校就学に入学するまでの子どもを養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができる制度です。

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった) * |

問21-7 「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。*

- | |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 6. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他() |

すべての方に、子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問22 奈良市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度を5段階評価してください。 5（高い） 4 3 2 1（低い）

問23 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族（親、きょうだいなど） 2. 隣近所の人、知人、友人 3. 学校 4. 市役所や市の機関
5. 市の広報やパンフレット 6. テレビ、ラジオ、新聞 7. 子育て雑誌・育児書 8. インターネット
9. コミュニティー誌 10. その他（ ） 11. 情報の入手先がない 12. 情報の入手手段がわからない

問24 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること 2. 食事や栄養に関すること 3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいらないこと 7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること 9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 不登校などの問題について 11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. その他（ ） 19. 特にない *

問25 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー 2. その他の親族（親・きょうだいなど） 3. 隣近所の人、地域の知人、友人 4. 職場の人
5. 学校の保護者の仲間 6. 子育てサポーター 7. 学校の先生 8. 医師・保健師・看護師・栄養士など
9. 家庭児童相談室（子育て相談課） 10. 地域子育て支援拠点（ひろばやセンター等）のスタッフやボランティアの人
11. 母子相談員 12. 民生・児童委員、主任児童委員 13. 教育センター（教育相談窓口）
14. はぐみセンター（保健所）や保健センター 15. 中央こども家庭相談センター（児童相談所）
16. 民間の電話相談 17. インターネットを利用したコミュニケーション
18. 相談相手がいらない 19. その他（ ） 20. 相談すべきことがない *

問26 妊娠中や出産後3か月以内に家事・育児に関して困ったことはありましたか。当てはまる番号（3つまで）に○をつけてください。

1. 上の子どもの世話 2. 家事 3. 出産の際の病院等への移動手段 4. 検診時の病院等への移動手段
5. 子どもの病気 6. 経済的負担 7. 家族の協力が得られないこと 8. その他（ ）

問27 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。
サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか（解決につながった、など）についてご自由にご記入ください。

（希望するサポート）

（実際に受けたサポートと、良かったこと、受けてどうなったか）

すべての方に、子どもにやさしいまちについて質問します

問28 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問28-1 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもに関する施策について、適切な情報提供がされ、子供が意見表明や参加する機会がある。 |
| 2. 安心して子育てできる環境がある |
| 3. 困難を有する子どもと家庭に対し必要な支援がある |
| 4. 有害及び危険な環境から守るための安全な環境がある |
| 5. 子どもが安心して過ごすことのできる居場所や遊び場がある |
| 6. 子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある |

問29 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問29-1 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| 1. 経済的支援が充実している | 5. 子どもにとって安全な環境がある |
| 2. 子どもや子育てに関する相談窓口が充実している | 6. 近隣にショッピングができる環境がある |
| 3. 教育・保育に関する環境が充実している | 7. 職場が近く、ワークライフバランスが保たれている環境がある |
| 4. 子育て住宅が整備されている | 8. 公共交通機関が整備されている |
| 5. 親子で外出する環境が整備されている | 9. その他 |

すべての方に、子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問30 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。